Panasonic®

取扱説明書
ブルーレイディスクプレーヤー搭載 ポータブル地上デジタルテレビ

品番 DMP-BV200

ブルーレイディスク /DVD 関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/ bd/

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。

詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(➜ 76 ～ 79 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

BONUS VIEW™

安全上のご注意 / 準備 / テレビ放送 / 映像 / 写真 / 音楽 / 接続 / ネットワーク / 設定 / 必要なとき

本機の特長

見る

テレビを見る

本機の 4 アンテナ ダイバーシティシステムで高画質な地上デジタル放送を楽しむことができます。
■ 電波状況が悪い場所では、自動的に携帯端末用のワンセグ放送に切り換わります。
■ 地上アナログ・BS デジタル・110 度 CS デジタル放送は受信することができません。
■ 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。
■ 地上デジタル放送やワンセグの放送エリアなどの最新情報について詳しくは下記ホームページをご覧ください。
社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

●●● 18 ページ

BD/DVD/SD カード /USB 機器を見る

ブルーレイディスクや DVD の映像、またメディアに記録した写真や動画（AVCHD・MPEG2・DivX)、さらに高画質 (VGA) の持ち出し番組を楽しむことができます。

●●● 25 ページ

フォトフレームとして使う

音楽 CD を聞きながら SD カードに記録した写真や動画 (AVCHD) をスライドショー再生するデジタルフォトフレームとして楽しむことができます。

●●● 34 ページ

楽しむ

インターネットに接続して楽しむ

インターネットを利用して動画共有サイトのサービスを楽しむことができます。（テレビでネット）

●●● 46 ページ

ネットワーク接続した機器の映像や写真を楽しむ [お部屋ジャンプリンク]

別の部屋の当社製 DLNA 対応レコーダーなどに保存された映像や写真を本機で楽しむことができます。

●●● 46 ページ

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（➜76〜79ページ）

■ 本書内の表現について　本書内で参照していただくページを（➜ ○○）で示しています。

準備

テレビ放送

映像

写真

音楽

接続

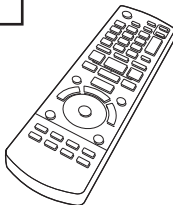
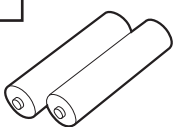
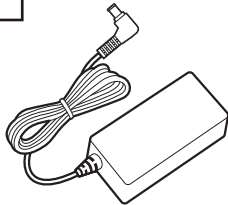
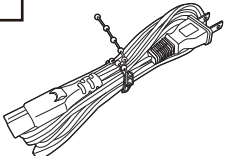
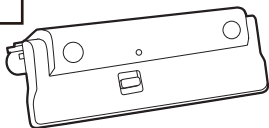
ネットワーク

設定

必要なとき

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット シンボルマーク

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

付属品

付属品をご確認ください。

- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(品番を記載しているもののみ)
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

□	**リモコン**※1 **(1 個)** N2QAKB000084
□	**リモコン用乾電池** **(2 本)** 単 3 形乾電池
□	**AC アダプター**※2 **(1 個)** RFEA221W
□	**電源コード(1 本)** K2CA2CA00024
□	**バッテリーパック**※3 **(1 個)** DY-DB30(充電式リチウムイオン電池)
□	**miniB-CAS カード** **(1 枚)** ●本カードの紛失 (➜ 11)
□	**アンテナ変換ケーブル** **(1 本)** K1TYYYY00138

※1　リモコンは本機専用です。
※2　ポータブル BD/DVD 用と表示されていますが、本機でご使用いただけます。
※3　買い換えの際は別売品をお買い求めください。
(➜ 右記)

■ 別売品のご紹介

品名		品番
HDMI ケーブル	(1.0 m)	RP-CDHS10
	(1.5 m)	RP-CDHS15
	(2.0 m)	RP-CDHS20
	(3.0 m)	RP-CDHS30
レンズクリーナー		SZZP1038C ※4
ブルーレイ /DVD ディスククリーナー		RP-CL750
バッテリーパック (充電式リチウムイオン電池)		DY-DB15 DY-DB30 DY-DB100
無線 LAN アダプター		DY-WL10

※4　サービスルート扱いでご用意しております。
お買い上げの販売店にご注文ください。

付属品、別売品の品番は、2010 年 2 月現在のものです。変更されることがあります。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めできます。

http://p-mp.jp/cpm

■ 充電式リチウムイオン電池について

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

充電式
リチウムイオン電池使用

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

■ 海外で使うには

AC アダプターは、電源電圧(100 V ～ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。
- テレビ放送を受信できるのは日本国内のみです。

取り扱いについて

お手入れ

■ 本機

- バッテリーパックを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をかたく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんは液晶画面には使用しないでください。外装ケースへのご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お知らせ

- 液晶画面や画面の周りは特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

■ レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、別売のレンズクリーナー (➜ 4) でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。**(➜ 49、放送設定**「個人情報リセット」**)**

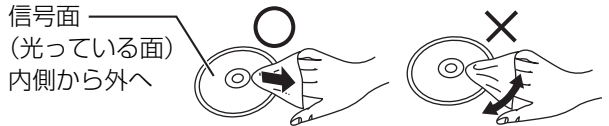
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

ディスク・SD カードの取り扱い

■ 持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

■ ディスクが汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- 汚れがひどいときは、別売のブルーレイ /DVD ディスククリーナー (➜ 4) をご使用ください。

■ 破損や機器の故障防止のために

次のことを必ずお守りください。

- 折り曲げたり、落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - –シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - –そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - –ハート型など、特殊な形のディスク

- **SD カード**
  - ・SD カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

■ 保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

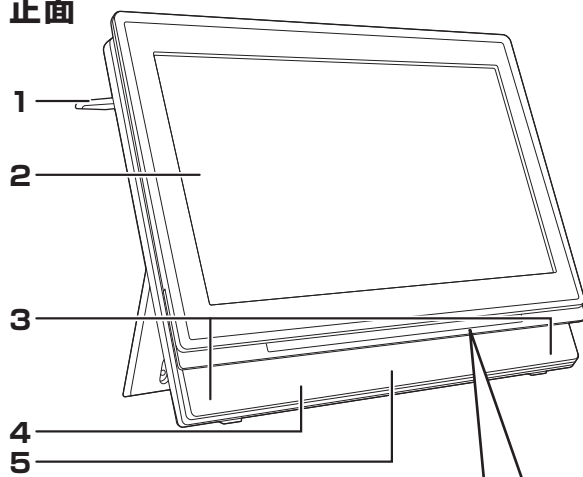
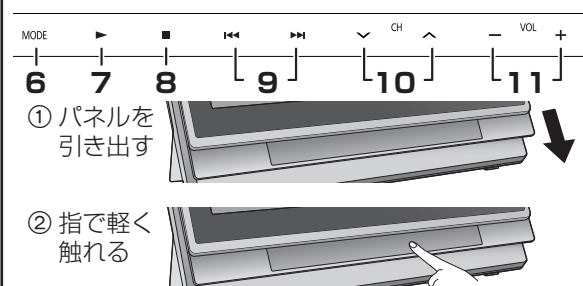
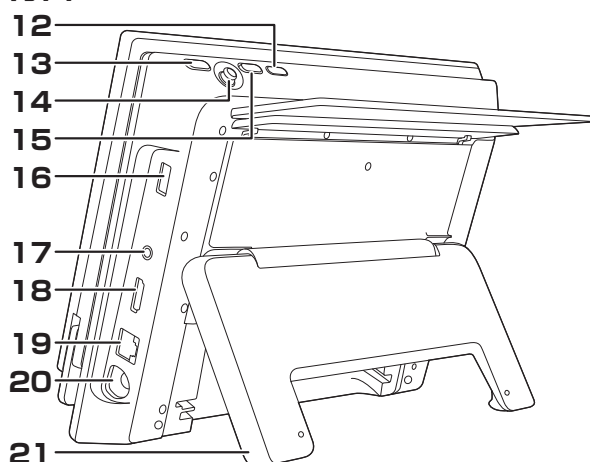
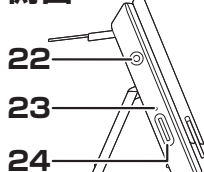
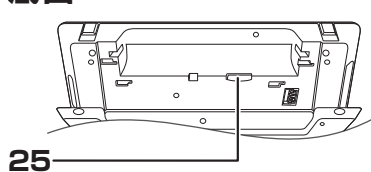
使用後はケースに収めてください。

準備

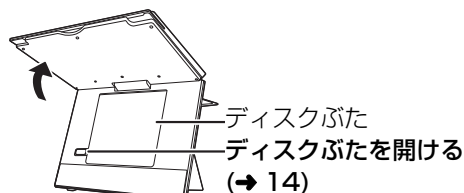
各部のはたらき

本体

（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。）

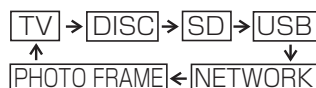
正面

背面

側面

底面

1 アンテナ (➜ 16)

2 液晶画面

画面を開いたとき

3 スピーカー

4 [CHARGE] ランプ：
バッテリーパック充電時に点灯 (➜ 12)

5 リモコン受信部 (➜ 7)

6 再生するメディアや操作する機能を切り換える
押すごとに切り換わります。

7 再生する (➜ 25)

8 停止する (➜ 28)

9 タイトルなどを飛び越す (➜ 28)

- 早送り・早戻し（サーチ）：再生中に押し続ける
- スロー再生：一時停止中に押し続ける
- スキップ：再生中または一時停止中に押す

10 テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 18)

11 音量を調整する

12 本機の電源を入 / 切する (➜ 13)

13 前の画面に戻る

14 画面上で選択する / 決定する：

選択する：上下左右 ([▲][▼][◀][▶]) に傾ける
例：左側の項目を選ぶとき

決定する：まっすぐ押し込む
例：操作を決定するとき

15 サブメニューを表示する

16 USB 機器を接続する

17 ヘッドホン端子 [🎧]
(ϕ 3.5 mm ステレオミニジャック)

18 テレビなどと接続して楽しむ (➜ 39)

19 ネットワーク接続をする (➜ 42)

20 AC アダプターを接続する (➜ 12)

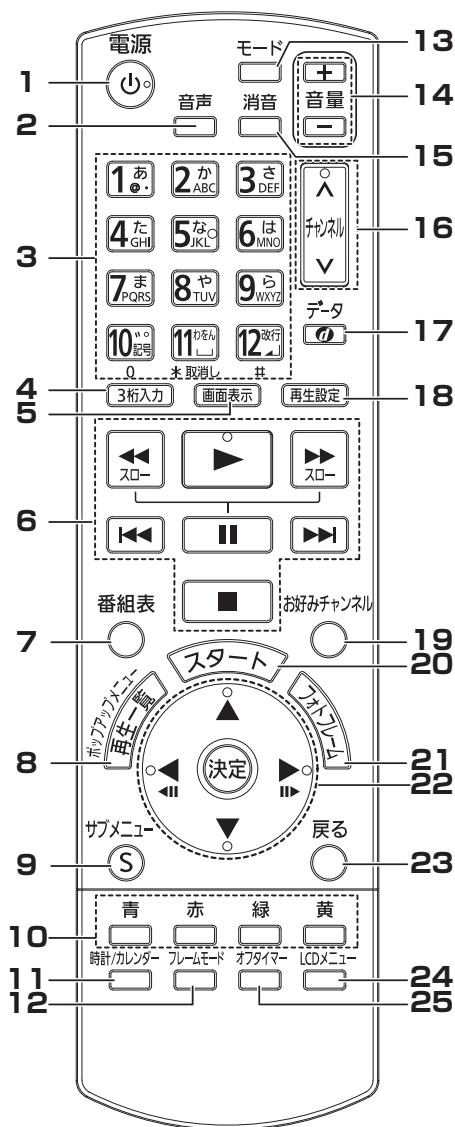
21 スタンド (➜ 11)

22 外部アンテナを接続する (➜ 16)

23 SD カードアクセスランプ (➜ 14)

24 SD カードを入れる (➜ 14)

25 miniB-CAS カードを挿入する (➜ 11)

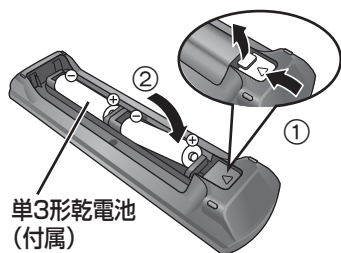
リモコン

1 本機の電源を入 / 切する (➜ 13)
2 音声を切り換える (➜ 29)
3 チャンネルや番組などを番号で選ぶ / 番号や文字を入力する

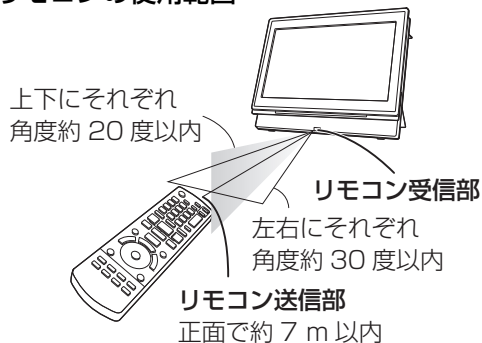
- 2けた入力
  例）5：[10] ➜ [5]
  15：[1] ➜ [5]
- 3けた入力
  例）5：[10] ➜ [10] ➜ [5]
  15：[10] ➜ [1] ➜ [5]
- 入力した数値などを取り消すには、[11] を押してください。

4 デジタル放送の3けた番号を入力する (➜ 21)
5 情報を表示する (➜ 21、29、37)
6 再生時の基本操作 (➜ 25 ～ 28)
7 番組表を表示する (➜ 18)
8 再生一覧画面を表示する / ポップアップメニューを表示する (➜ 25)
9 サブメニューを表示する
10 画面上の指示に応じて使用する
11 フォトフレームの表示デザインを切り換える (➜ 34)
12 フォトフレームの表示モードを切り換える (➜ 35)
13 再生するメディアや操作する機能を切り換える (➜ 6)
14 音量を調整する
15 音声を消す
もう一度押すと解除します。
16 テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 18)
17 データ放送の画面を表示する (➜ 23)
18 再生方法を設定する (➜ 29)
19 お好みチャンネルを表示する (➜ 20)
20 スタート画面を表示する (➜ 15)
21 フォトフレームとして再生する (➜ 34)
22 画面上で選択する / 決定する

- 選択する：上下左右 ([▲] [▼] [◀] [▶]) を押す
- 決定する：(決定) を押す

23 前の画面に戻る
24 画面設定を変える (➜ 13)
25 自動的に電源を切る (➜ 13)

■ 乾電池（付属）を入れる

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 入れたあとは、ふたを ⊖ 側から先に入れて元どおり閉じてください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■ リモコンの使用範囲

- リモコンと本機の間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

ディスク・SD カード・USB 機器について

ディスク

市販 / レンタルディスク

本機では下記の市販またはレンタルディスクを再生することができます。ディスクロゴはディスクやパッケージをご覧ください。
(➜ 9「リージョンコード / リージョン番号について」)

メディアの種類とロゴ	特徴	本書内の表示
BD ビデオ Blu-ray Disc	**市販またはレンタルディスク** ● BONUSVIEW™ (BD-ROM Profile 1 version 1.1/ Final Standard Profile) 対応ディスクについて ➜ 31 BONUSVIEW™ ● BD-Live (BD-ROM Profile 2) 対応ディスクについて ➜ 31 BD LIVE™	BD-V
DVD ビデオ DVD VIDEO DVD VIDEO	**市販またはレンタルディスク**	DVD-V
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	**CD-DA 方式に準拠する市販またはレンタルディスク** ● CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。	CD

記録ディスク

本機では他の機器で記録した下記のディスクを再生することができます。

ファイナライズ済 このマークがあるディスクを本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

メディアの種類とロゴ	再生できる内容 / フォーマット	本書内の表示
BD-RE ※1 Blu-ray Disc	● 録画番組 ● JPEG	BD-V ※2 BD-AV ※3 JPEG
BD-R ※1 Blu-ray Disc	● 録画番組 ● DivX®	BD-V ※2 BD-AV ※3 DivX
DVD-RAM※4 DVD RAM RAM4.7	● 録画番組 ● JPEG ● AVCHD	DVD-VR AVCREC JPEG AVCHD
DVD-R/RW ファイナライズ済 DVD R R4.7 DVD RW	● 録画番組 ● MP3※5 ● JPEG ※5 ● AVCHD ● DivX ※5	DVD-V DVD-VR AVCREC ※5 MP3 JPEG AVCHD DivX
DVD-R DL ファイナライズ済 DVD R R DL	● 録画番組 ● MP3 ● JPEG ● AVCHD ● DivX	DVD-V DVD-VR AVCREC MP3 JPEG AVCHD DivX
+R/+RW/ +R DL ファイナライズ済	● 録画番組 ● AVCHD	DVD-V AVCHD
CD-R/RW ファイナライズ済	● CD-DA方式に準拠して記録された音楽や音声 ● MP3 ● JPEG ● DivX	CD MP3 JPEG DivX

● 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作りかたにより再生できない場合があります。

※1 片面 2 層（50 GB）のディスク (DL) や、LTH type (➜ 71) も再生することができます。
※2 ハイビジョンムービーでハイビジョン動画 (AVCHD) を記録した場合や、当社製ブルーレイディスクレコーダー（DMR-BW200）で、ハイビジョンムービーの動画 (AVCHD) を記録した場合
※3 2007 年以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで、番組やハイビジョンムービーの動画 (AVCHD) などを記録した場合 (2010 年 2 月現在)
※4 「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク（6X 以上の 高速記録対応) も再生することができます。
※5 DVD-RW には対応していません。

リージョンコード / リージョン番号について

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコード / 番号があります。本機では下記のマーク（リージョンコード / リージョン番号）が表示されたディスクを再生することができます。

■ BD ビデオ

「A」または「A」を含むものが表示されたディスクを再生することができます。

例）

■ DVD ビデオ

「2」（または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたディスクを再生することができます。番号は国により違います。

例）

再生できないディスク

- カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0)
- カートリッジ付きの DVD-RAM（TYPE1）
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- 他の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R（ビデオ方式)、DVD-R DL（ビデオ方式)、DVD-RW（ビデオ方式）
- PAL 方式で記録されたディスク
- リージョンコード **「 A 」を含まない** BD ビデオ
- リージョン番号 **「 2 」「 ALL 」以外** の DVD ビデオ
- HD DVD
- DVD-ROM、CD-ROM、CDV、CD-G、SACD、Photo CD、CVD、MV-Disc、PD
- DVD-RW Ver.1.0
- DVD-RW（片面 2 層）
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- WMA ディスク
- 1 秒間に 50 フレームのレートで記録された BD ビデオ

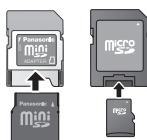
準備

SD カード

本機では他の機器で記録した下記のカードを再生することができます。

メディアの種類	フォーマット	本書内の表示
SD メモリーカード※1 (8 MB ～ 2 GB まで)	● AVCHD	AVCHD
	● JPEG	JPEG
SDHC メモリーカード※2 (4 GB ～ 32 GB まで) SDXC メモリーカード※3 (48 GB、64 GB)	● MPEG2 ● MPEG-4 AVC/H.264※4	SD VIDEO

※1　miniSD カードや microSD カードも使用できます。
※2　microSDHC カードも使用できます。
※3　microSDXC カードも使用できます。
※4　当社製ブルーレイディスクレコーダー（DMR-BW880 など）で、高画質（VGA）またはワンセグ画質（QVGA）の持ち出し番組を記録した場合

- 本書では上記の表のカードを「SD カード」と記載しています。
- miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード、microSDXC カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/bd/
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカード、および exFAT 形式でフォーマットされた SDXC メモリーカードに対応しています。
- 4 GB ～ 32 GB の SD カードは、SDHC ロゴのある SD カードのみ使用できます。
- 48 GB および 64 GB の SD カードは、SDXC ロゴのある SD カードのみ使用できます。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなることがあります。
- SD カードをパソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜ 31)
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。

書き込み禁止スイッチ

■ カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

USB 機器

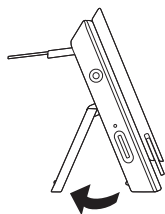
本機では下記のフォーマットで記録された USB 機器を使用することができます。

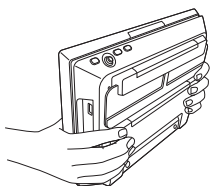
メディアの種類	フォーマット	本書内の表示
USB 機器	● MP3 ● JPEG ● DivX	MP3 JPEG DivX

- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- FAT12、FAT16 および FAT32 形式のファイル形式に対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- 本機は USB 充電には対応しておりません。

本機を設置する

水平で安定した平面に、スタンドを開いた状態で、立てて置いてください。

- スタンドは開ききった状態でお使いください。
- 車の中に取り付けることはできません。

本機を持つときは

スタンドを閉じた状態でお持ちください。

本機を移動させるときは

本機の電源を切り、画面・アンテナ・スタンドを閉じてください。

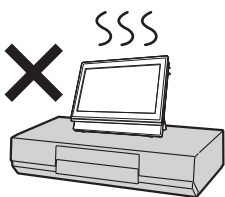
液晶画面について

0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。

お願い

液晶画面を下にして置かないでください。
液晶画面の表面に傷がつく原因になります。

本機の設置場所について

- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
  - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、設置場所の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

miniB-CAS カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機への miniB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴はできません。

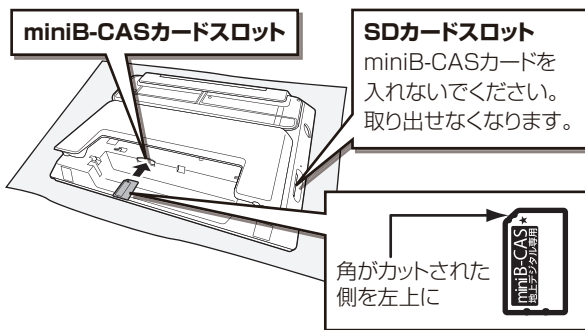
- miniB-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってあるシートの説明をご覧ください。

- miniB-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモなどに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。(➜ 55)

お問い合わせは（紛失時など）

(株) ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

- 液晶画面の表面に傷がつかないよう、柔らかい布などを敷いて作業を行ってください。
- AC アダプターが接続されていない状態で行ってください。

背面

miniB-CAS カードスロットに、「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ押し込む

- miniB-CAS カードのテストは、「かんたん設置設定」(➜ 16 ～ 17) の中で行われます。
- miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

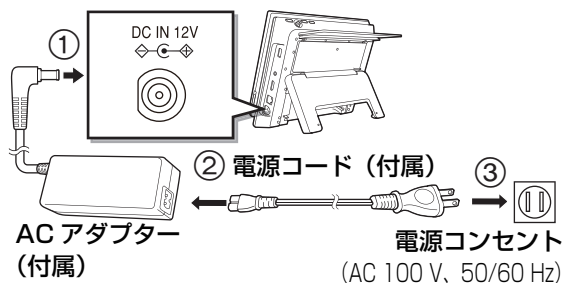
miniB-CAS カードを取り出すには

カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- miniB-CAS カードの挿入 / 取り出しをするときは、ゆっくり行ってください。急に指を離すと、カードが飛び出すことがあります。
- miniB-CAS カードは小さいものです。紛失しないようにお気をつけください。

電源を準備する

AC アダプターを接続して使う

- 電源が切れた状態でも、約 0.4 W の電力を消費しています（クイックスタート「入」時は約 4 W）。長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

バッテリーパックを使う

付属のバッテリーパックを装着すれば、屋外など電源コンセントがない場所でもお使いになれます。

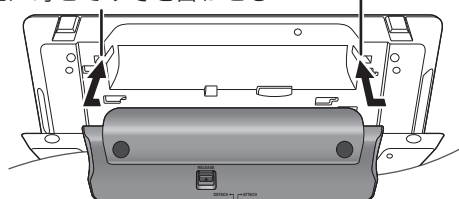
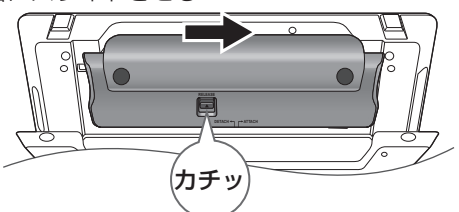
- お買い上げ時、バッテリーパックは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- バッテリーパックは本機専用です。他の機器には使うことはできません。

バッテリーパックを取り付ける

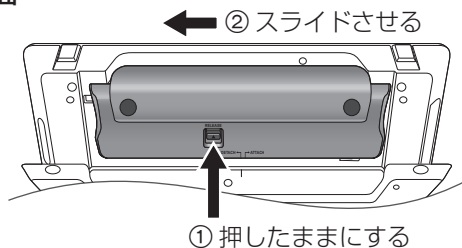
電源「切」状態 (➜ 13「電源を入 / 切する」) で行ってください。

- スタンドを開いた状態で行ってください。

底面

① 左に寄せてみぞを合わせる

② 右にスライドさせる

- 確実に固定されていることを確認してください。

■ バッテリーパックを取り外すには

底面

長時間使用しないときは

- バッテリーパックを取り外してください。
（電源「切」状態でも微少電流が流れて過放電になり、故障する恐れがあります）
- 再使用時は充電してからお使いください。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを取り付けた後、AC アダプターを接続する (➜ 左記)

充電時間と再生時間

バッテリーパック	充電時間※1	ディスク (SD) 再生 / テレビ視聴時間※2		
		液晶画面の明るさ		
		－5	0	＋5
DY-DB30（付属 / 別売）	約 5 時間	約 3 時間 30 分	約 3 時間	約 2 時間 45 分
DY-DB15（別売）	約 4 時間	約 2 時間 45 分	約 2 時間 30 分	約 2 時間 15 分
DY-DB100（別売）	約 7 時間 30 分	約 5 時間 30 分	約 5 時間	約 4 時間 30 分

※1　電源「切」状態、20 ℃時
※2　ヘッドホン使用、20 ℃時

- 上記の時間は使用条件により異なります。

液晶画面の明るさを変えるには
➜ 13「液晶画面の映像を調整する」

バッテリーパックの残量を確認する

AC アダプター使用時は表示されません。

電源「入」時に サブメニュー Ⓢ を押す

画面右下にバッテリー残量が数秒間表示されます。

満充電　　**充電必要** (点滅)

表示が点滅したら、バッテリーパックを充電してください。

- 残量が少なくなると自動的に表示されます。

電源を入 / 切する

電源
⏻ を押す（約 0.5 秒）

もう一度押すと「切」になります。

- **はじめて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。**(➜ 16 ～ 17)
- **初期設定**「無操作電源 [切]」(➜ **54**) を「入」に設定している場合 (お買い上げ時の設定は「入」)、停止状態で約 15 分 (バッテリーパック使用時は約 5 分) 経過すると自動的に電源が切れます。
- **初期設定**「クイックスタート」(➜ **54**) を「入」に設定すると、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。(待機時消費電力は増えます)

お知らせ

- 電源「入」時などに動作音がする場合がありますが、ピックアップの動作初期化のための動作に伴うもので異常ではありません。

自動的に電源を切る

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

オフタイマー
を押して切り換える

例：30 分

オフタイマー	0：30

押すごとに切り換わります。

切 → 0:30 → 1:00 → 2:00 → 3:00 → 6:00 → 12:00 →（切に戻る）

液晶画面の映像を調整する

1 LCDメニュー **を押す**

- **[サブメニュー]** を押して、「その他の機能へ」を選んで表示することもできます。

例

2 **[▲][▼] で項目を選ぶ （➜ 下記へ）**

3 **[▲][▼][◀][▶] で設定を変える**

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

画質モード

▷ スタンダード：標準
▷ <u>ダイナミック</u>：
明暗がはっきりした画質
▷ ナイト：
暗い場所での使用に適した画質
▷ ユーザー
・明るさ：　(－５～＋５)
・色の濃さ：　(－５～＋５)
・色合い：　(－５～＋５)

出画

「入」(映像表示)、「切」(映像なし) を選びます
- 「切」を選んだ場合は、**[◀][▶]** で「はい」を選び、**[決定]** を押してください。

- フォトフレーム再生中 (➜ **34**) は、「出画」は表示されません。また、「画質モード」は選択できますが、「ユーザー」の詳細を変更することはできません。
- 液晶画面を使わないときは、「切」にすることをおすすめします。「切」にすると画面左下に画面消去マークが表示されます。

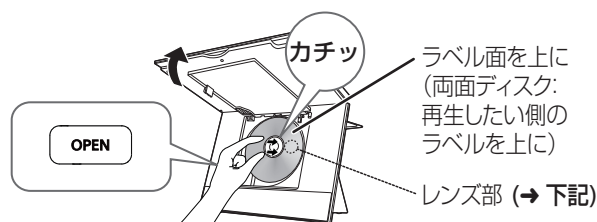
出画「切」から「入」に戻すには

[LCD メニュー]、**[サブメニュー]**、**[モード]** または **[スタート]** を押す

画面を消すには

[LCD メニュー] または **[戻る]** を押す

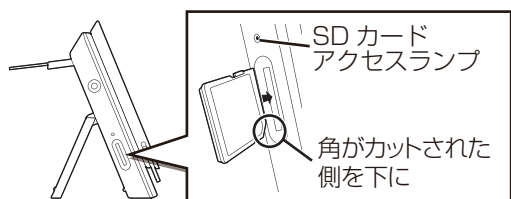
ディスク・SD カード・USB 機器を入れる

ディスク

1 画面を開き、[OPEN] を押す

2 本機を手で支えた状態でディスクを入れ、ディスクぶたを閉める

3 画面を閉じる

- 電源が入った状態でディスクを入れると、再生が始まるものがあります。
- カートリッジ付きディスクについて
  - ・BD-RE（Ver.1.0）：本機では使用できません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）
  - ・DVD-RAM や 8 cm のディスク：カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。（TYPE1 は使えません）
  - ・使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、カートリッジに収めて保管してください。
- 汚れの原因になりますので、レンズ部には触れないでください。

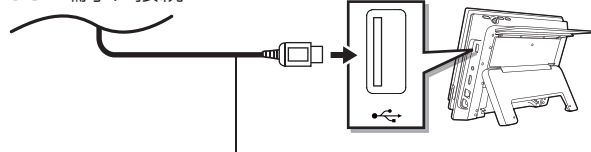
SD カード

SD カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

カードの読み込み中は、SD カードアクセスランプが点滅します。

- ランプの点滅中は、本機から SD カードを取り出さないでください。

SD カードを取り出すには

SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

USB 機器

- メディアは正しい向きに挿入してください。
- 接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）
- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

スタート画面を表示する

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。
● 再生するメディアや操作する機能により、表示される項目は異なります。

1 [スタート] を押す

● [サブメニュー] を押して、「その他の機能へ」を選んで表示することもできます。

例

2 [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す

● さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

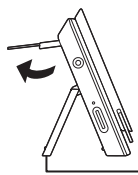
▷ テレビを見る (➜ 18)
▷ 番組表を見る (➜ 18)
▷ 再生する (➜ 25)
▷ トップメニュー (➜ 25)
▷ メニュー (➜ 25、26、32、36、38)
▷ 写真を見る (➜ 36)
▷ 動画を見る (➜ 26、32)
▷ 音楽を聴く (➜ 38)
▷ お部屋ジャンプリンク (➜ 46)
▷ テレビでネット (➜ 46)
▷ 表示開始 (➜ 34)
▷ フォトフレーム設定 (➜ 35)
▷ テレビ (➜ 18)
▷ ディスク (➜ 25、32、36、38)
▷ SD カード (➜ 26、36)
▷ USB 機器 (➜ 32、36、38)
▷ ネットワーク (➜ 46)
▷ フォトフレーム (➜ 34)
▷ その他の機能へ
　・ プレイリスト再生 (➜ 27)
　・ 放送設定 (➜ 48)
　・ 初期設定 (➜ 51)
　・ メール / 情報 (➜ 55)
　・ カード管理 (➜ 31)

画面を消すには

[スタート] を押す

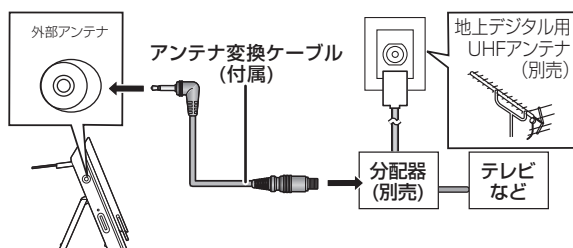
アンテナの準備をする

アンテナを立てる

水平の位置になるまで立ててください。

スタンドにもアンテナを内蔵
しています。(➜ 71)

- テレビを見ないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。

■ 映像が乱れる場合は

屋外 UHF アンテナと接続することをおすすめします。
本機にアンテナ変換ケーブル（付属）を接続してください。

お知らせ

- **アンテナ変換ケーブルを接続すると、自動的に外部アンテナに切り換わります。本機の内蔵アンテナで放送を受信するときは、アンテナ変換ケーブルを本機から抜いてください。**
- CATV（ケーブルテレビ）と接続する場合は、ご自宅の CATV 方式について CATV 会社に確認してください。本機は同一周波数パススルー方式※のみに対応しており、トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式には対応しておりません。
  ※ CATV 会社が、地上デジタル放送を再送信する伝送方式です。ホームターミナル / セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。

■ 本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送およびワンセグを受信することができます。地上デジタル放送とワンセグでは、番組により異なる放送が部分的に行われています。

地上デジタル放送とは ➜ 68
ワンセグとは ➜ 69

- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。
- 地上デジタル放送やワンセグの放送エリアなどの最新情報について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp

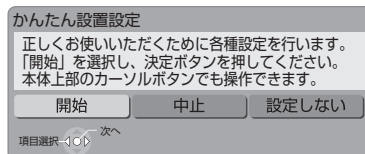
チャンネルを設定する（かんたん設置設定）

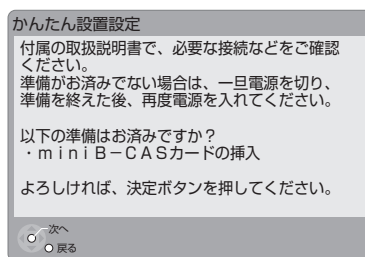
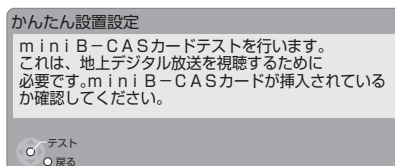
設定中は AC アダプターやバッテリーパックを外したり、電源を切らないでください。

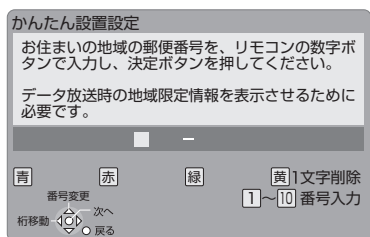
- 設定したチャンネルは「お好みチャンネル（ホーム）」(➜ 20) に保存されます。
- 内蔵アンテナで設定すると、お住まいの地域で受信できるチャンネルのすべてを設定できない場合があります。安定してチャンネルを設定したいときは、外部アンテナと接続することをおすすめします。(➜ 左記)

準備

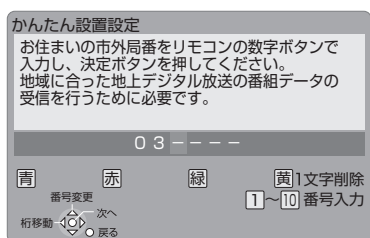
- miniB-CAS カードを挿入する (➜ 11)
- アンテナの準備をする (➜ 左記)

1 [◀] [▶] で「開始」を選び、決定 を押す

- 「中止」、「設定しない」を選んで [決定] を押すとチャンネルは設定されません。「中止」を選ぶと次回電源を入れたときに再び「かんたん設置設定」の開始画面が表示されます。「設定しない」を選ぶと表示されません。

2 表示内容を確認し、準備が済んでいれば 決定 を押す

miniB-CAS テストの画面が出たら
miniB-CAS カードの挿入を確認し (➜ 11)、[決定] を押す

「OK」： [決定] を押し、次の手順に進んでください。
「NG」： デジタル放送を視聴できません。カードを挿入し直してください (➜ 11)。「OK」にならない場合は、販売店にご相談ください。

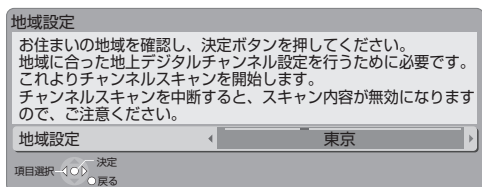
3 [1] ～ [10] でお住まいの地域の郵便番号を入力し、[決定] を押す

番号を間違えたときは

[黄] を押す

4 [1] ～ [10] でお住まいの地域の市外局番を入力し、[決定] を押す

番号を間違えたときは

[黄] を押す

5 [◀][▶] でお住まいの都道府県を選択し、[決定] を押す

地域設定
お住まいの地域を確認し、決定ボタンを押してください。
地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますので、ご注意ください。
地域設定　東京
項目選択　決定　戻る

チャンネルの検索が始まります。
検索中は下記の画面が表示されます。

6 設定内容を確認し、[◀][▶] で「次へ」を選び、[決定] を押す

リモコンの数字ボタン番号
「1」～「12」はリモコンの数字ボタン番号（変更できません）
「13」以降を表示するには［◀］［▶］で「修正する」を選んで [決定] を押し、「13」が表示されるまで［▼］を押してください。

3 けたチャンネル番号
画面に表示される番号です。

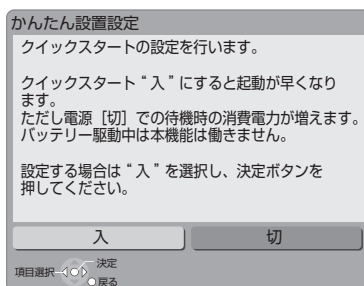
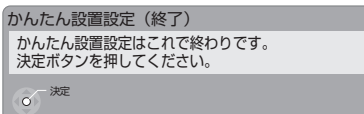
放送局名

チャンネル設定を修正するには

[◀][▶] で「修正する」を選んで [決定] を押し、「チャンネル設定を修正する (マニュアル)」(➜ 50) 手順 8 ～ 10 の操作を行ってください。

設定後、映りが悪いときは

本機の**放送設定**「受信設定」で本機のアンテナを調整してください。(➜ 49)
外部アンテナと接続することも可能です。(➜ 16)

7 [◀][▶] でクイックスタートの設定を選択し、[決定] を押す

8 [決定] を押して、終了する

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

- 手順 6 で前の画面に戻ることはできません。
- 手順 7 で [戻る] を押すと、手順5に戻ります。

ネットワーク通信設定するには

➜ 43「かんたんネットワーク設定をする」

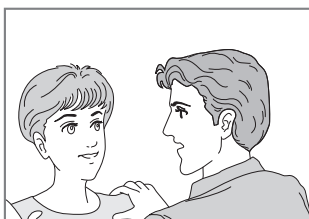
テレビ放送を見る

（本書では地上デジタル放送を中心に説明しています。）

準備

● アンテナの準備をする (➜ 16)

1 [モード] を押して、「TV」を選ぶ

画面右上に「TV」と表示された後、テレビ放送の画面に切り換わります。

電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかが表示されます。
手動で切り換えることもできます。(➜ 21)

2 [1] ～ [12] または [チャンネル] を押して、チャンネルを選ぶ

画面に表示が出ます (数秒後に消えます)。

● 画面表示について (➜ 21)

3 [音量 +/−] を押して、音量を調整する

● ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

その他の方法で選局するには

➜ 右記「番組表から選局する」
➜ 20「お好みチャンネルから選局する」
➜ 21「3けたチャンネル番号を入力して選局する」

[チャンネル ∧,∨] で選べる放送局を変更するには

➜ 49　放送設定「選局対象」

数字ボタンで選べる放送局を変更するには

➜ 50「チャンネル設定を修正する (マニュアル)」

お知らせ

● 屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。場所を変えて試してください。

■　緊急警報放送（EWS）について

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、お知らせ画面が表示されます。[決定] を押すと、緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。

● 緊急警報放送終了後は、元のチャンネルに自動で戻ります。

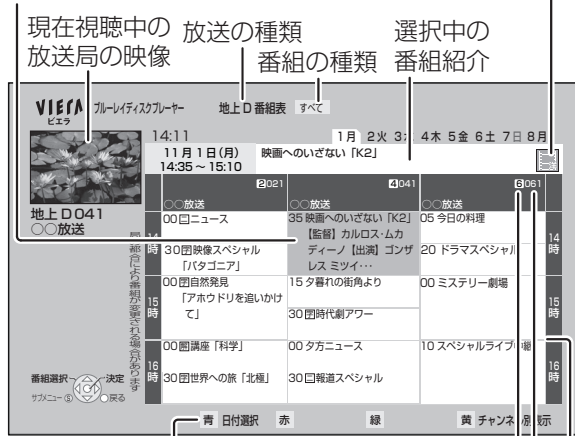
番組表から選局する

新聞のテレビ欄のような一覧表から番組を選ぶことができます。

● 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[決定] を押すと表示されます。（数分かかることもあります）

1 [番組表] を押す

● [サブメニュー] を押して表示することもできます。

例）全チャンネル表示

※短い番組は青の線で表示されます。
選ぶと、番組情報が表示されます。

番組表の表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

2 [▲] [▼] [◀] [▶] で放送中の番組を選び、[決定] を押す

選択中の番組内容画面が表示されます。

表示マークについて (➜ 59)

3 [決定] を押す

■ 番組表の受信について

- テレビ放送視聴中は、視聴中のチャンネルの番組表を自動的に受信します。
- 番組表は、地上デジタル放送は最大 8 日分、ワンセグは最大 10 番組表示されます。
- AC アダプターを接続した状態で電源「切」にすると、最新の番組表を自動的に受信します。内蔵アンテナをお使いの場合は、アンテナを立てておいてください。番組表の受信には数分間かかります。
- 本機は G ガイドの受信には対応していません。

別の日の番組表を表示する

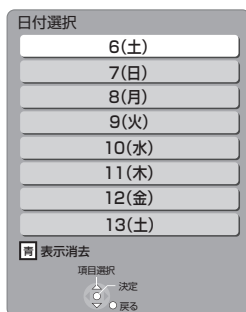
- 地上デジタル放送視聴中、全チャンネル表示時のみ

1 番組表 ◯ **を押す**

2 青 ▭ **を押す**

3 **[▲][▼] で日付を選び、決定 を押す**

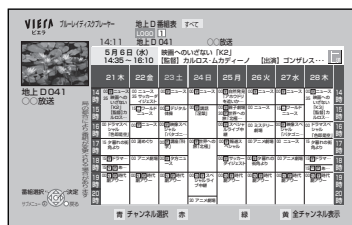
例）

日付選択
6(土)
7(日)
8(月)
9(火)
10(水)
11(木)
12(金)
13(土)
青 表示消去
項目選択
決定
戻る

チャンネル別の番組表を表示する

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

- 地上デジタル放送視聴中のみ

1 番組表 ◯ **を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で表示したいチャンネルの番組を選び、** 黄 ▭ **を押す**

全チャンネル表示に切り換えるには

[黄] を押す

■ 別のチャンネルを表示する

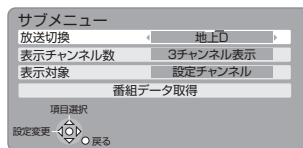
① [青] を押す

- 次ページのチャンネルを表示させる場合は、もう一度 [青] を押してください。

② [▲][▼] でチャンネルを選び、[決定] を押す

表示設定を変える

1 番組表 ◯ **を押す**

2 サブメニュー Ⓢ **を押す**

3 **[▲][▼] で項目を選ぶ（➜ 下記へ）**

- 表示される内容は放送によって異なります。

放送切換

お好み番組表 (➜ 20) に切り換えます。

[◀][▶] で切り換える

表示チャンネル数

- 全チャンネル表示時のみ

1 画面に表示するチャンネル数を変更します。

[◀][▶] で設定を変更する

表示日数切換

- チャンネル別表示時のみ

1 画面に表示する日数を変更します。

[◀][▶] で設定を変更する

表示対象

番組表で表示させる内容を変更します。

[◀][▶] で設定を変更する

- 「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている 1～36までのチャンネルを表示
- 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。

番組データ取得

選択した局の番組情報を受信します。

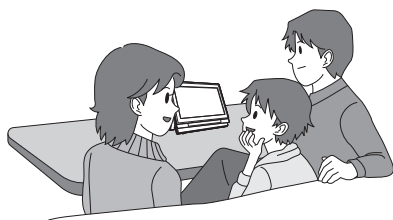
[決定] を押す

4 戻る ◯ **を押す**

お好みチャンネルから選局する

お好みチャンネルは、画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

- よく見るチャンネルを登録しておくと、選局時に便利です。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。
- 登録したチャンネルのリストを保存する場所として「ホーム」「おでかけ」の 2 種類があります。使用場所により使い分けると便利です（それぞれ 24 チャンネルまで登録可能）。

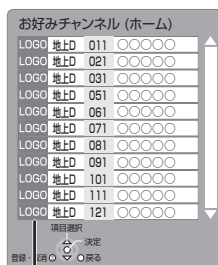
自宅で使用→「ホーム」
自宅周辺で受信した放送の保存場所としてお使いいただけます。

外出先で使用→「おでかけ」
移動中の使用など、頻繁にチャンネルを設定し直す必要がある場合の保存場所として便利です。

お知らせ

- 「お好みチャンネル (ホーム) 」には、「かんたん設置設定」 (➜ 16 ～ 17) で設定したチャンネルが保存されています。
- 「お好みチャンネル (おでかけ) 」には、お買い上げ時にはチャンネルは登録されていません。
「おでかけ更新」 (➜ 21) でチャンネルを設定してください。
- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定 (➜ 16 ～ 17) や初期スキャン・再スキャン (➜ 50) を行うと、登録した内容は取り消されます。

1 視聴中に、お好みチャンネル を押す

- [サブメニュー] を押して表示することもできます。

例：お好みチャンネル (ホーム) 選択時

放送局のロゴは表示されない場合もあります。

2 [▲][▼] で放送局を選び、決定 を押す

チャンネルを追加する

視聴中のチャンネルをリストの一番下に追加します。

1 視聴中に、お好みチャンネル を押す

2 サブメニュー S を押す

3 [▲][▼] で「登録」を選び、決定 を押す

4 [◀][▶] で「はい」を選び、決定 を押す

チャンネルを取り消す

1 視聴中に、お好みチャンネル を押す

2 [▲][▼] で取り消したい放送局を選び、サブメニュー S を押す

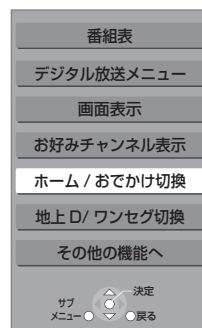
3 [▲][▼] で「取消」を選び、決定 を押す

4 [◀][▶] で「はい」を選び、決定 を押す

「ホーム」「おでかけ」を切り換える

1 視聴中に、サブメニュー S を押す

2 [▲][▼] で「ホーム / おでかけ切換」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で「ホーム」または「おでかけ」を選び、決定 を押す

お好みチャンネル（おでかけ）に登録する

使用する場所で受信できるチャンネルを自動的に検索・設定するため、使用場所に応じて手軽にリストを登録・更新することができます。

1 **視聴中に、[サブメニュー] を押す**

2 **[▲][▼] で「ホーム / おでかけ切換」を選び、[決定] を押す**

3 **[▲][▼] で「おでかけ更新」を選び、[決定] を押す**

4 **設定内容を確認し、[戻る] を押す**

- お好みチャンネルは「おでかけ」に切り換わります。

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	地上 D	チャンネル名	ワンセグ	チャンネル名
1	011	NHK 総合・東京	611	NHK 総合・東京
2	021	MX テレビ	621	MX テレビ
3	031	NHK 教育・東京	631	NHK 教育・東京
4	041	日本テレビ	641	日本テレビ
5	051	○○大学	651	○○大学
6	061	TBS テレビ	661	TBS テレビ
7	071	tvk	671	tvk
8	081	フジテレビ	681	フジテレビ
9	091	チバテレビ	691	チバテレビ
10	101	テレビ朝日	701	テレビ朝日
11	111	テレ玉	711	テレ玉
12	121	テレビ東京	721	テレビ東京

青　赤　緑 入換　黄

項目選択　決定　戻る（終了）

お知らせ

- 電源を切っても設定は保持されます。同じ場所でテレビを見る場合、再度チャンネルを登録する必要はありません。

3けたチャンネル番号を入力して選局する

放送局の3けたチャンネル番号を入力して選局することができます。

1 **[3桁入力] を押す**

2 **[1] ～ [10] を押して、チャンネルを入力する**

例）103 の場合…[1] → [10] → [3]

- 入力画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには

➜ 22「枝番選局」

地上デジタル放送 / ワンセグを切り換える

1 **視聴中に、[サブメニュー] を押す**

2 **[▲][▼] で「地上 D/ ワンセグ切換」を選び、[決定] を押す**

3 **[▲][▼] で設定したい項目を選び、[決定] を押す**

地上 D/ ワンセグ 自動切換

電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかに切り換わります。

地上 D (固定)

地上デジタル放送のみ受信します。

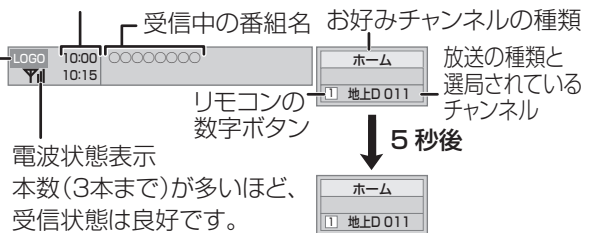
ワンセグ (固定)

ワンセグのみ受信します。

見ている番組の情報を表示する

[画面表示] を押す

- [サブメニュー] を押して表示することもできます。

例）お好みチャンネル（ホーム）選択中、
地上デジタル放送を見ているとき

画面表示を消すには

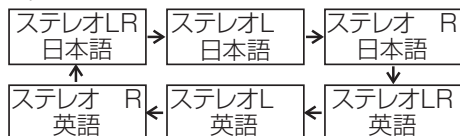
[画面表示] を数回押す

テレビ放送

音声を切り換える

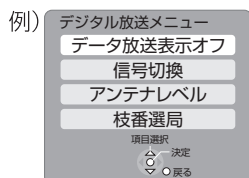
音声 を押して切り換える

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

- 放送内容が 1 つしかないときは切り換えできません。

- [**サブメニュー**] を押して、「その他の機能へ」を選んで表示することもできます。

放送内容の設定を変える

1 サブメニュー を押す

2 [▲][▼] で「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で設定項目を選び、決定 を押す（ → 右記へ）

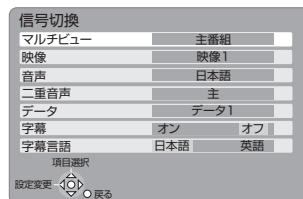
- 表示される内容は放送によって異なります。

データ放送表示オフ

- 地上デジタル放送視聴時のみ

データ放送の表示を終了します。

信号切換

[▲][▼] で項目を選び、[◀][▶] で設定する

- マルチビューとは、主番組と副番組の複数映像を持った番組です。
- 設定内容が 1 つしかないときは切り換えできません。

アンテナレベル

アンテナ角度の最適値や本機がテレビ放送を受信しやすい位置を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

枝番選局

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、3 けたチャンネル番号に追加される番号のことです。
（例：「011-0」、「011-1」、「011-2」）
3 けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。
以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

[▲][▼] で放送局を選び、[決定] を押す

3 けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには

[▲][▼] で主選局にしたい放送局を選び、[**緑**] を押す

上下左右の黒帯を消して拡大する

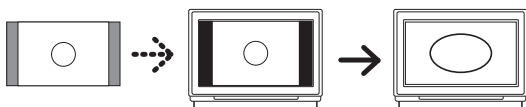
上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

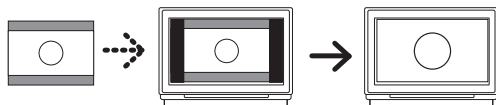
1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

2 **[▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、** 決定 **を押す**

3 **[▲][▼] で「画面モード切換」を選び、** 決定 **を押す**

4 **[◀][▶] で画面モードを選ぶ**

▷ ノーマル: 通常の出力になります。
▷ サイドカット: 16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

左右に黒帯のある16:9映像	「ノーマル」では左右に黒帯がある状態	「サイドカット」で黒帯部分を消して拡大表示

▷ ズーム： 4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

上下に黒帯のある4:3映像	「ノーマル」では額縁表示された状態	「ズーム」で黒帯部分を消して拡大表示

お知らせ

- 黒帯がない映像の場合、左右や上下の映像がカットされますので、お気をつけください。
- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - · 他のチャンネルを選局する
  - · ドライブを切り換える
  - · 電源を切/入する
- BD-V DVD-V 「サイドカット」は効果がありません。
- 他のテレビとの接続時に初期設定「画面アスペクト」(➜ 53) を「4:3 パン&スキャン」または「4:3 レターボックス」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- ワンセグ視聴時は利用できません。

1 **データ放送のある番組を選局し、** データ d **を押す**

番組内容画面を表示中 (➜ 18)、下記の表示マークのある番組はデータ放送があります。
(表示マークがない番組もあります)

データ　+d テレビ　d テレビ

- 表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 **[▲][▼][◀][▶] で見たい項目を選び、** 決定 **を押す**

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や数字ボタンで操作してください。
- ネットワーク接続が必要な番組もあります。(➜ 42)

文字を入力するには
➜ 24「文字を入力する」

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

データ画面を消すには
[データ] を押す

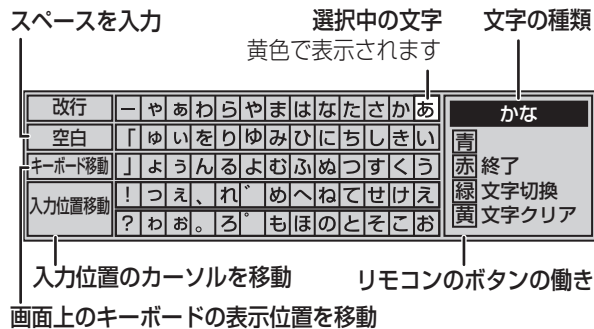
- 画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜ 22)

文字を入力する

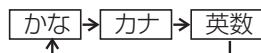
データ放送の番組などで文字入力を行う画面が表示された場合、文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボードを表示します。

- **データ放送の番組の中には、番組独自のキーボードを表示する場合があります。その場合は、画面の指示に従ってください。**

1 [▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、(決定) を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。

文字の種類を切り換えるには

[緑] を押す

押すごとに切り換わります。

- 漢字を入力するときは、「 かな」を選びます。
- 英数のみの入力のときは、「英数」に固定されます。

ひらがなを確定するには

[赤] を押す

ひらがなを漢字変換するには

[青] を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

- [黄] を押すと、入力画面に戻ります。

入力した文字を消すには

[黄] を押す

2 入力が終わったら、赤 を押す

いろいろな方法で入力する

■ 文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

① 「えいが」と入力して、[青] を押す

映画

② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ

えいが

③ [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

映が

■ 記号を入力する

① 「きごう」と入力する

② [青] を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

■ 文字を追加する

[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、文字を入力する（カーソルの左に文字が追加されます）

■ 文字を消す

[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、[黄] を押す（カーソルの文字が削除されます）

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

映像を再生する

1 ディスク、SD カードを入れる (➜ 14) または USB 機器を接続する (➜ 14)

再生が始まります。

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 音量 ＋／－ を押して、音量を調整する

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

- 再生が始まらないときは、[▶] (再生) を押してください。
- 続き再生メモリー機能 (➜ 28「停止」) が働いている場合は、停止した位置から再生します。
（BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります）
- +R、+RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。

メディアを切り換えるには

[モード] を押す (➜ 7)

- 停止中にメディアを入れた場合、自動的に切り換わります。

暗証番号の入力画面が出たときには

設定した暗証番号を入力し、[決定] を押してください。

お知らせ

- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。
- ２枚組の BD ビデオを再生している場合、１枚目の再生が終了したあとディスクを取り出しても、再生画面が表示され続けることがあります。
- ディスクや SD カードによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- ディスク再生中は回転音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

1 ディスクを入れる (➜ 14)

メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

2 [▲][▼][◀][▶] で項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V

再生中：

① [サブメニュー] を押す

② [▲][▼] で「トップメニュー」を選び、[決定] を押す

停止中：[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

DVD-V

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

- [サブメニュー] を押して表示することもできます。

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V

再生中：[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

- [サブメニュー] を押して表示することもできます。

番組を録画したディスクを再生する

1 ディスクを入れる (➜ 14)

「番組一覧」画面が表示されます。

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

例）BD-RE

No.	録画日	曜日	チャンネル	開始時刻	番組名
001	8/ 5	(水)		10:00	
002	8/ 5	(水)	地上D 081	11:30	
003	8/ 5	(水)	地上D 081	11:59	
004	8/ 6	(木)	AVCHD	10:00	
005	8/ 6	(木)	VHS	11:30	
006	8/ 6	(木)		11:59	
007	8/ 7	(金)		10:00	
008	8/ 7	(金)		10:30	
009	8/ 7	(金)	DV	11:30	
010	8/ 7	(金)	IN 2	11:59	

2 [▲][▼][◀][▶] で見たい映像を選び、決定 を押す

番組一覧画面を表示させるには

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

テレビ放送
映像

ハイビジョン動画 (AVCHD) や MPEG2、持ち出し番組を再生する

AVCHD　SD VIDEO

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影し、ディスクや SD カードに記録されたハイビジョン動画 (AVCHD) や SD カードに記録された動画 (MPEG2)、または当社製レコーダー（ディーガ）で作成し、SD カードに記録された持ち出し番組を再生することができます。

1 ディスクまたは SD カードを入れる (➜ 14)

動画または番組の一覧画面が表示されます。

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」、「撮影ビデオ（MPEG2) を見る」または「持ち出し番組を見る」を選び、[決定] を押してください。

例）撮影ビデオ (AVCHD) 一覧

2 [▲][▼][◀][▶] で見たい映像を選び、決定 を押す

動画または番組の一覧画面を表示させるには

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

お知らせ

- AVCHD 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- ２倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。
- パソコンでメディアにドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストした AVCHD や MPEG2 または持ち出し番組は、再生することができません。

■ 他のメニューから動画メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

[スタート] を押して、「メニュー」を選んで切り換える (➜ 15)

ハイビジョン動画 (AVCHD) や写真を撮影日時の順に連続して再生する (指定日スライドショー)

AVCHD　JPEG

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影し、SD カードに記録されたハイビジョン動画 (AVCHD) および写真（JPEG）を撮影日時の順に連続して再生することができます。

1 SD カードを入れる (➜ 14)

2 [▲][▼] で「撮影日を選択して見る」を選び、決定 を押してください。

「撮影日付一覧」画面が表示されます。

3 [▲][▼][◀][▶] で日付を選び、決定 を押す

- [▲][▼] で月を、[◀][▶] で日を移動します。
- [▶] (再生) を押して再生することもできます。

次の写真または動画を表示するには

再生中に [▶▶|] を押す

スライドショーを終了するには

[■](停止) または [戻る] を押す

撮影日付の一覧画面を表示させるには

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

お知らせ

- AVCHD 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。

■ 他のメニューから連続再生メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

[スタート] を押して、「メニュー」を選んで切り換える (➜ 15)

スライドショーの設定を変更する

26 ページ手順 2 のあと

3 サブメニュー Ⓢ **を押す**

4 [▲][▼] で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼] で設定する項目を選ぶ (➜ 下記へ)

6 設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、決定 を押す

再生モード

- ▷ 写真のみ
- ▷ 写真と撮影ビデオ

写真表示間隔

[◀][▶] で表示間隔を選ぶ

- 画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。

リピート再生

スライドショーを繰り返します。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

写真 BGM (音楽 CD)

スライドショー再生中、音楽 CD を BGM として流すことができます。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

- 再生中の音楽 CD を早送り・早戻しまたは、スキップすることはできません。
- スライドショーが終了すると、再生中の音楽 CD も停止します。
- 動画再生中は、BGM は流れません。

操作状態または写真情報の表示

➜ 29「操作状態の表示」
➜ 37「写真 (JPEG) 情報の表示」

チャプターを再生する

BD-AV AVCREC DVD-VR AVCHD

チャプターが作成されたディスクまたは SD カードを再生することができます。

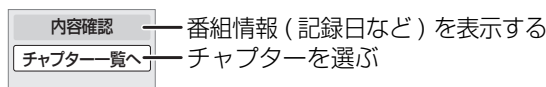
1 ディスクまたは SD カードを入れる (➜ 14)

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 動画または番組の一覧画面表示中に

[▲][▼] で映像を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

例） AVCHD

内容確認	番組情報 (記録日など) を表示する
チャプター一覧へ	チャプターを選ぶ

3 [▲][▼] で「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼][◀][▶] でチャプターを選び、決定 を押す

例） AVCHD

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

プレイリストを再生する

BD-AV AVCREC DVD-VR

プレイリストが作成されたディスクを再生することができます。

1 ディスクを入れる (➜ 14)

2 スタート を押す

3 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] で「プレイリスト再生」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼][◀][▶] でプレイリストを選び、決定 を押す

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

映像

再生中のいろいろな操作

メディアや内容によっては機能しないものもあります。

停止

[■] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶します。

- [▶] (再生) を押すと、止めた位置から再生します。
- 記憶した位置は、以下の場合は解除されます。
  – [■](停止) を数回押す
  – メディアを取り出す
  – 電源「入」時に、停電になったり、AC アダプターが外れたり、バッテリーパックの残量がなくなるなどで電源が切れる
- BD-V BD-J (➜ 70) が含まれる BD ビデオは、続き再生メモリー機能が働きません。

一時停止

[❚❚] を押す

もう一度押す、または [▶] (再生) を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し（サーチ）

再生中に

[◀◀ スロー] [▶▶ スロー] を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります (5 段階)。

- [▶] (再生) で通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。
- BD-AV AVCREC DVD-VR DVD-V
  早送りの 1 速時のみ音声が出ます。
- CD MP3
  速度は 1 段階のみ速くなります。音声は出ません。
- BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
- BD-V DivX AVCHD SD VIDEO 音声は出ません。

スロー再生

一時停止中に

[◀◀ スロー] [▶▶ スロー] を押す

押すごとに速度が速くなります (5 段階)。

- [▶] (再生) で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD
  送り方向のみ働きます。
- BD-AV AVCREC DVD-VR
  スロー再生を約 5 分以上続けたときは、一時停止します。
- BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
- SD VIDEO スロー再生はできません。

スキップ

再生中または一時停止中に

[⏮] [⏭] を押す

押した回数だけタイトル、チャプターまたはトラックを飛び越します。

- DivX 戻し方向 [⏮] のみ

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

[◀] または [▶] を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

- 押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶] (再生) で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD
  コマ戻しはできません。
- BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
- SD VIDEO コマ送り (戻し) はできません。

ダイレクト再生

BD-V DVD-V AVCHD 停止中（下の画面表示中）はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。

[1] ～ [10/0] を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する

DVD-V 2 けた入力
例）5：[10]➜[5]、15：[1]➜[5]
BD-V AVCHD 3 けた入力
例）5：[10]➜[10]➜[5]、15：[10]➜[1]➜[5]

- AVCHD 撮影ビデオ（AVCHD）一覧が表示されているときは、働きません。

上下左右の黒帯を消して拡大する

➜ 23

音声の切り換え

BD-AV AVCREC DVD-VR DivX SD VIDEO

[音声] を押して切り換える

押すごとに、映像の内容によって切り換わります。

BD-V DVD-V

1 [音声] を押す

2 [▲][▼] を押して切り換える

音声チャンネル番号が切り換わり、サウンドトラック言語などを切り換えることができます。
(➜ 右記「言語」)

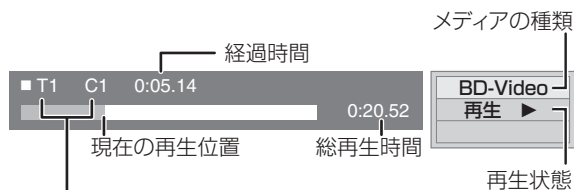
- [サブメニュー] を押して、「その他の機能へ」を選んで表示することもできます。
- BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

操作状態の表示

操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示] を押す

押すごとに表示は切り換わります。
- [サブメニュー] を押して表示することもできます。

例）BD-V

T: タイトル、C: チャプター、PL: プレイリスト
- 表示される内容は再生するメディアによって異なります。

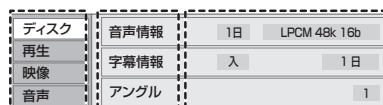
- メディアの種類または再生状態によっては、表示されないことがあります。

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に

[再生設定] を押す

- [サブメニュー] を押して、「その他の機能へ」を選んで表示することもできます。

例）DVD-V

メディアにより設定項目は異なります。

2 [▲][▼] でメニューを選び、[▶] を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で設定項目を選び、[▶] を押す

4 [▲][▼] で設定を変える

設定を終了するには
[再生設定] を押す

音声属性
LPCM/DDDigital/DDDigital+/DDTrueHD/
DTS-HD MSTR/DTS-HD HI RES/
DTS-HD LBR/DTS/MPEG/AAC：信号タイプ
ch：チャンネル数
k：サンプリング周波数（kHz）
b：ビット数（bit）

言語

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	＊:その他	

映像コーデック
MPEG-2：
カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で DVD などに使われます。
MPEG-4 AVC
VC-1：
カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で Blu-ray ディスク などハイビジョン映像の録画に使われます。

映像

ディスク（ディスク独自の機能の設定）

- 収録内容により表示が変わります。
  収録されていない場合は変更できません。

信号切換

BD-V [決定] を押して、さらに設定します。

▷ 主映像：
- ・映像情報：　映像の記録方法を表示
- ・音声情報：　音声や言語の種類を選択

▷ 副映像：
- ・映像情報：　映像の切 / 入の選択や、映像の記録方法を表示
- ・音声情報：　音声や言語の切 / 入を選択

映像情報

AVCHD 映像の記録方法を表示します。

音声情報※

DVD-V AVCHD
音声や言語の種類を選びます。**(➜ 29、音声属性 / 言語)**

BD-AV AVCREC DVD-VR SD VIDEO
音声属性が表示されます。**(➜ 29、音声属性)**

DivX 音声トラック番号を選びます。
（音声トラック番号は音声が 1 種類しか記録されていない場合でも表示されます。）

字幕情報※

BD-V DVD-V AVCHD
字幕表示の切/ 入や、言語を選びます。**(➜ 29、言語)**

AVCREC DVD-VR
（字幕の入/切 情報が記録されたディスクのみ）
字幕表示の切/ 入を選びます。

字幕スタイル

BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

音声チャンネル

BD-AV AVCREC DVD-VR DivX SD VIDEO
音声（L/R）を切り換えます。**(➜ 29「音声の切り換え」)**

アングル※

BD-V DVD-V アングルを選びます。

※　ディスクに収録されているメニュー画面 **(➜ 25)** でのみ切り換えできるものもあります。

再生（再生方法の設定）

リピート

（経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。
メディアによりリピートの種類は異なります。
- 取り消すには、「切」を選んでください。

ランダム

（音楽再生時のみ）
- 順不同に再生します。

映像（お好みの画質の設定）

画質選択

BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V DivX SD VIDEO
再生時の画質を選びます。

▷ ノーマル：　標準
▷ ソフト：　ざらつきの少ない柔らかな画質
▷ ファイン：　輪郭の強調されたくっきりした画質
▷ シネマ：　映画鑑賞向け
▷ ユーザー：　さらに画質を調整
[▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す
- ・コントラスト：　白黒の強弱 (–7 ～ +7)
- ・ブライトネス：　画面全体の明るさ (0 ～ +15)
- ・シャープネス：　鮮やかさ (–6 ～ +6)
- ・カラー：　色の濃さ (–7 ～ +7)
- ・ガンマ：　暗くて見えにくい映像の輪郭 (0 ～ +5)
- ・3D NR：　背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出す (0 ～ +4)
  - **初期設定**「24p 出力」が「入」に設定時は、働きません。**(➜ 53)**
- ・Integrated NR：　モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去 (0 ～ +3)

プログレッシブ

プログレッシブ映像 **(➜ 69)** の最適な表示方法を選びます。

▷ Auto（標準）：　フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換
▷ Video：　「 Auto 」でぶれが生じるとき

24p

DVD ビデオを再生する場合、24 p で出力するかしないかを設定します。「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。
- **初期設定**「24p 出力」**(➜ 53)** が「入」の場合のみ

音声（お好みの音声効果の設定）

シネマボイス

BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V DivX SD VIDEO
センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍に大きくしてセリフを聞き取りやすくします。
- HDMI 出力時には、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ使用できます。**(➜ 52)**

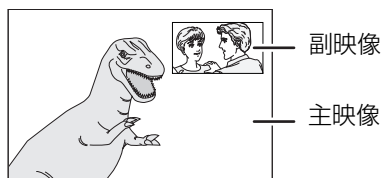
BONUSVIEW や BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむ

BONUSVIEW™ とは
BONUSVIEW™ 対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

BD-Live とは
BD-Live 対応ディスクでは、BONUSVIEW™ の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって異なります。詳しくはディスクに添付の説明書をご覧ください。

副映像のあるディスクを楽しむ

例）

副映像を表示するには

「副映像」の「映像情報」を「入」にする (➜ 30、[再生設定] を押して、「ディスク」⇨「信号切換」)

副音声を出すには

「副映像」の「音声情報」を「入」にする (➜ 30、[再生設定] を押して、「ディスク」⇨「信号切換」)

お知らせ

- ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。
- 副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(➜ 52) を「入」にしてください。
- 副映像を消すと、副音声は再生できません。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、追加コンテンツをダウンロードする必要があります。本機では SD カードにダウンロードします。

- 1 GB 以上の残量がある SD カード（SD スピードクラスの CLASS 2以上）をお使いください。
- インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

準備

- ネットワーク接続と設定をする (➜ 42 ～ 44)
- **初期設定**「BD-Live インターネット接続」(➜ 52) を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する

1 SD カードを入れる (➜ 14)

- SD カードのメニュー画面が表示される場合は、[戻る] を押して画面を消してください。
- 本機で SD カードのフォーマット (➜ 下記) をすることをおすすめします。

2 ディスクを入れる

- 再生方法については、ディスクの説明書をご覧ください。

お知らせ

- 再生が終了するまで SD カードを抜かないでください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、本機やディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。インターネットへの接続を制限することができます。(➜ 52)
- 映像を SD カードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。またダウンロードが済んでいない部分へのスキップができないなど、一部の機能が使えないことがあります。
- ディスクによっては、「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。(➜ 52)

■ SD カードをフォーマットする / データを消去する

SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、以下の操作でデータを消去することができます。ただし、フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができません。

① SD カードを入れる (➜ 14)
② [スタート] を押す
③ [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
④ [▲][▼] で「カード管理」を選び、[決定] を押す
⑤ [▲][▼] で「B D ビデオデータ消去」または「カードのフォーマット」を選び、[決定] を押す
⑥ [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す
⑦ [◀][▶] で「実行」を選び、[決定] を押す

映像

DivX® ビデオを再生する

DivX

DivX ビデオについて :
DivX® は DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機は DivX ビデオを再生する公式 DivX Certified 機器です。
詳細やファイルを DivX ビデオに変換するためのソフトウェアについては www.divx.com をご覧ください。

パソコンで記録した DivX ビデオファイルが含まれた BD-R、DVD-R/R DL、CD-R/RW または USB 機器を再生できます。
(フォルダ構造について ➜ 57、「本機で表示されるフォルダ構造例」)

- **全ての DivX ファイルの再生を保証しているわけではありません。(➜ 56「MP3/JPEG/AVCHD/MPEG2/DivX ファイルについて」)**

1 ディスクを入れる (➜ 14) または USB 機器を接続する (➜ 14)

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で「DivX を見る」を選び、[決定] を押してください。

例)

2 [▲, ▼] で項目を選び、決定 を押す

選んだ項目から再生が始まります。

例)

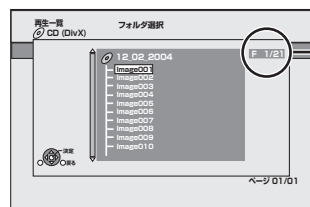
- パソコンで記録時に設定された画面サイズで再生されない場合があります。「画面モード切換」(➜ 23) で画面サイズを変更できる場合があります。
- 連続して再生できません。
- 早送り・早戻しまたは、スキップ機能も使用できます。(➜ 28)
- 「再生一覧」画面を表示中に前後のページを表示するには、[|◀◀][▶▶|] を押してください。

■ 他のメニューから DivX メニューに切り換える
(異なったフォーマットのデータが記録されている場合)
[スタート] を押して、「メニュー」を選んで切り換える (➜ 15)

別のフォルダの項目を再生する

1 「再生一覧」画面を表示中に サブメニュー S を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び 、決定 を押す

例)

選んだフォルダ番号 / 総フォルダ数
フォルダに項目が含まれていない場合、フォルダ番号は「– –」と表示されます。

3 [▲][▼] でフォルダを選び、決定 を押す

選んだフォルダの「再生一覧」が表示されます。

- 再生できる DivX が入っていないフォルダは選べません。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

DivX VOD ファイルについて

DivX ビデオ・オン・デマンドについて :
DivX Certified® 機器は DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルを再生するために登録が必要です。
本機の初期設定で DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) の項目を表示して、登録コードを確認してください。登録コードを使って登録したり、DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) について知るためには、vod.divx.com にアクセスしてください。

- USB 機器に記録された DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルを再生することはできません。

本機の登録コードを表示する
(➜ 54、**初期設定**「設置」の「DivX 登録コード」)

- 初めて DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルを再生した後、登録コードは表示されなくなります。
- 本機の**初期設定**「DivX 登録コード」に表示されるコードと異なるコードで購入したファイルは再生できません。
  (「DivX(R) VOD 認証エラー」が表示されます)

本機の登録を解除する
(➜ 54、**初期設定**「設置」の「DivX 登録コード」)
初期設定「DivX 登録コード」で **[◀][▶]** を押して「はい」を選んでください。
www.divx.com で登録を解除するときに、表示された登録解除コードを使用してください。

再生回数が限定された DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルについて

DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルの中には、ファイルごとに再生回数に制限のあるものがあります。これらのファイルを再生しようとすると、残り再生回数が表示されます。残り再生回数が「0」になると、再生できません。
(「この DivX(R) VOD レンタル番組は無効です。」が表示されます)

- 残り再生回数は、番組を再生するたびに減ります。ただし、続き再生メモリー機能により前回の停止位置から再生する場合には残り再生回数は減りません。

映像

フォトフレームとして動画や静止画を再生する

本機を写真立てとして、SD カードに記録された写真（JPEG）および動画（AVCHD）を連続して再生することができます。

1 フォトフレーム **を押す**

2 SD カードを入れる (➜ 14)

次の写真または動画を表示するには

再生中に [▶▶|] を押す

再生を停止するには

再生中に [■](停止) を押す

日付・時刻の表示を変更するには

初期設定「時刻合わせ」(➜ 54) を設定する

テレビ放送を受信した場合、日付・時刻は自動的に設定されます。

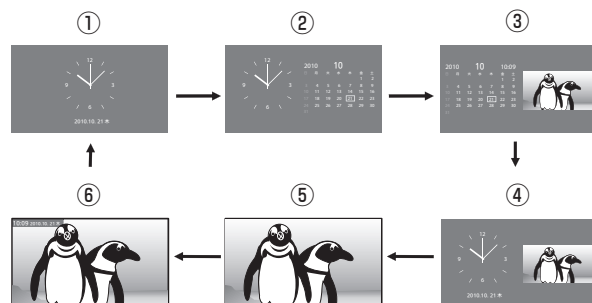
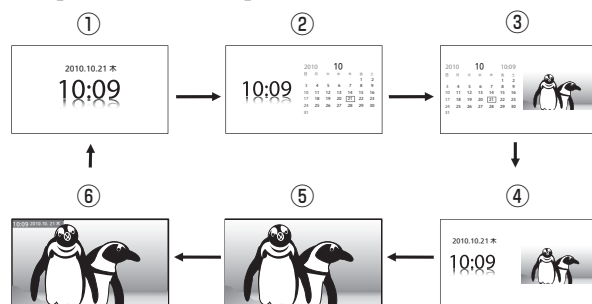
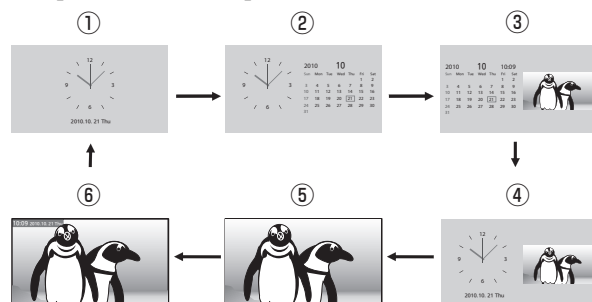
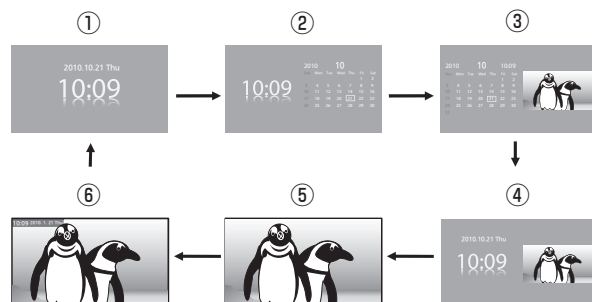
お知らせ

- SD カード内に記録されたデータの日付・時間順に再生します。
- 動画の音声は出ません。
- 動画はチャプター単位で再生されます。
- 動画アスペクトは 16:9 に固定されます。
- 動画のメニューや字幕の表示、および一時停止、早送り、早戻し、またはスロー再生することはできません。
- アスペクトが 4：3 または 16：9 以外の静止画は、画像の左右や上下がカットされることがあります。
- 他のテレビとの接続時 (➜ 39) は、長時間再生すると接続したテレビの画面に焼き付けを起こす場合があります。長時間再生する場合は、他のテレビと接続しないでください。

表示モードを切り換える

時計/カレンダー **を押す**

[フレームモード](➜ 35) の設定に従い、押すごとに切り換わります。

■ [フレームモード] で「ブラック」選択時

■ [フレームモード] で「ホワイト」選択時

■ [フレームモード] で「アイボリー」選択時

■ [フレームモード] で「レッド」選択時

① 時計
② 時計＋カレンダー
③ カレンダー＋画像
④ 時計＋画像
⑤ 画像※
⑥ 画像＋小時計※

※　SD カードに再生できる画像または動画が記録されている場合のみ切り換わります。

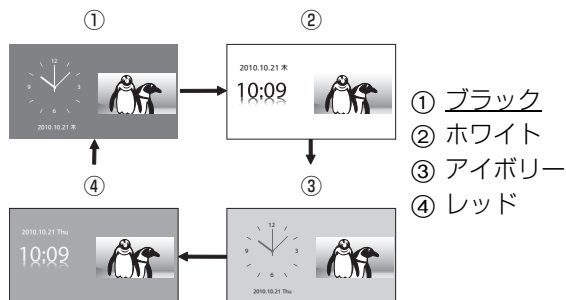
- 下線部はお買い上げ時の設定です。

表示デザインを切り換える

フレームモード を押す

押すごとに切り換わります。

例）[時計 / カレンダー] (➜ 34) で「時計+画像」選択時

① ブラック
② ホワイト
③ アイボリー
④ レッド

- 下線部はお買い上げ時の設定です。
- [時計 / カレンダー] で「画像」または「画像＋小時計」を選択している場合は、切り換わりません。

フォトフレームの設定を変更する

1 スタート を押す

2 [▲][▼] で「フォトフレーム設定」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で設定する項目を選ぶ (➜ 下記へ)

4 設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、決定 を押す

再生モード

[◀][▶] で再生するデータを選ぶ

▷ 写真のみ:
SD カード内に記録された写真 (JPEG) のみ再生

▷ 写真と撮影ビデオ:
SD カード内に記録された写真 (JPEG) と動画 (AVCHD) を再生

写真表示間隔

[◀][▶] で表示間隔を選ぶ

- 画素数が大きい写真は、次の写真または動画の表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。

ＢＧＭ（音楽ＣＤ）

フォトフレーム再生中、音楽 CD を BGM として流すことができます。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

- 再生中の音楽 CD を早送り・早戻しまたは、スキップすることはできません。
- フォトフレームの再生を停止すると、再生中の音楽 CD も停止します。
- [時計 / カレンダー] (➜ 34) で「時計」または「時計＋カレンダー」選択時は、BGM は流れません。

表示形式

フォトフレーム再生中の画面表示を設定します。
(➜ 34「表示モードを切り換える」)

[◀][▶] で表示方法を選ぶ

フレームモード

フォトフレーム再生中の画面デザインを設定します。
(➜ 左記「表示デザインを切り換える」)

[◀][▶] でデザインを選ぶ

フォトフレームタイマー設定

(➜ 下記)

フォトフレームのタイマー設定を変更する

左記手順 2 のあと

3 [▲][▼] で「フォトフレームタイマー設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] で設定する項目を選ぶ (➜ 下記へ)

5 設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、決定 を押す

フォトフレームオンタイマー

電源「切」時に設定した時間になると、自動的に電源が入ってフォトフレーム再生が始まります。

- AC アダプター接続時のみ

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

開始時刻

「フォトフレームオンタイマー」の時刻を設定します。

[▲][▼][◀][▶] で時刻を設定する

フォトフレームオフタイマー

電源「入」時に設定した時間になると、自動的に電源が切れます。

- フォトフレーム再生中のみ

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

終了時刻

「フォトフレームオフタイマー」の時刻を設定します。

[▲][▼][◀][▶] で時刻を設定する

お知らせ

- 「フォトフレームオフタイマー」と「オフタイマー」(➜ 13) の両方を設定している場合、早い方の終了時刻に電源が切れます。

写真

写真（JPEG）を再生する

写真 (JPEG) が記録された BD-RE、DVD-RAM、DVD-R/D DL、CD-R/RW 、SD カードおよび USB 機器を再生することができます。

1 ディスク、SD カードを入れる (➜ 14) または USB 機器を接続する (➜ 14)

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で「写真を見る」を選び、[決定] を押してください。

◇ BD-RE、DVD-RAM

「アルバム表示」画面が表示されます。

- 「番組一覧」画面が表示されている場合は、[赤] を押して「アルバム表示」画面に切り換えます。

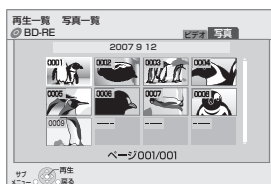
例）BD-RE

◇ DVD-R/R DL、CD-R/RW、SD カード、USB 機器

「写真一覧」画面が表示されます。➜ 手順 3 へ

2 [▲][▼][◀][▶] でアルバムを選び、決定 を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で写真を選び、決定 を押す

例）BD-RE

再生中に前後の写真を見るには

[◀][▶] を押す

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[ポップアップメニュー / 再生一覧] を押す

お知らせ

- JPEG 以外の写真は再生できません。
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。

■ **他のメニューから写真 (JPEG) メニューに切り換える**

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

[スタート] を押して、「メニュー」を選んで切り換える (➜ 15)

写真再生のいろいろな機能

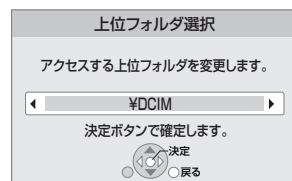
別のフォルダにある写真（JPEG）を選ぶ

- 本機で表示されるフォルダ構造例 ➜ 57

◇ BD-RE、DVD-RAM

- 「アルバム表示」画面を表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ

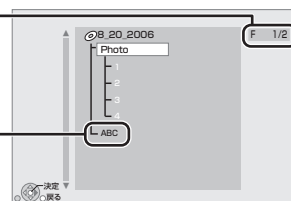
1 「アルバム表示」画面を表示中に サブメニュー S を押す

2 [▲][▼] で「上位フォルダ選択」を選び、決定 を押す

3 [◀][▶] でフォルダを選び、決定 を押す

◇ DVD-R/R DL、CD-R/RW

1 「写真一覧」画面を表示中に サブメニュー S を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼][◀][▶] でフォルダを選び、決定 を押す

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

写真を連続して再生する（スライドショー）

◇ BD-RE、DVD-RAM

1 **「アルバム表示」画面を表示中に**

[▲][▼][◀][▶] でアルバムを選び、サブメニュー Ⓢ を押す

● [サブメニュー] の代わりに [▶]（再生）を押してもスライドショー再生が始まります。

2 **[▲][▼] で「スライドショー開始」を選び、決定 を押す**

◇ DVD-R/R DL、CD-R/RW、SD カード、USB 機器

1 **「写真一覧」画面を表示中に**

サブメニュー Ⓢ を押す

2 **[▲][▼] で「スライドショー開始」を選び、決定 を押す**

スライドショーを終了するには

[■]（停止）を押す

スライドショーの設定を変更する

上記手順 1 のあと

2 **[▲][▼] で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す**

3 **[▲][▼] で設定する項目を選ぶ（➜ 下記へ）**

4 **設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、決定 を押す**

表示間隔

[◀][▶] で表示間隔を選ぶ

● 画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。

表示効果

スライドショー再生中の写真の切り換わりかたを設定します。

[◀][▶] で表示方法を選ぶ

▷ フェード：フェードインしながら写真を表示し、フェードアウトして次の写真に切り換えます。

▷ モーション：写真を拡大・縮小したり、上下に移動しながら、フェードアウト・フェードインして切り換わります。

▷ ランダム：「モーション」に加えて、さまざまな方法で次の写真に切り換わります。

リピート再生

スライドショーを繰り返します。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

ＢGM

スライドショー再生中、USB 機器に記録された MP3 または音楽 CD を BGM として流すことができます。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

● 再生中の音楽を早送り・早戻しまたは、スキップすることはできません。
● スライドショーが終了すると、再生中の音楽も停止します。
● 音楽 CD を入れ、USB 機器を接続している場合は、音楽 CD が BGM として再生されます。

ＢGM フォルダ選択

USB 機器に記録された MP3 のフォルダを選択することができます。

① [決定] を押す
② [◀][▶] でフォルダを選ぶ
③ [決定] を押す

写真 (JPEG) を回転・縮小する

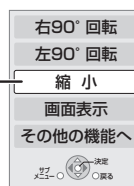
● スライドショー再生中はできません

1 **写真を再生中に**

サブメニュー Ⓢ を押す

2 **[▲][▼] で項目を選び、決定 を押す**

右90° 回転
左90° 回転
縮　小
画面表示
その他の機能へ

縮小：画素数の小さい写真を表示しているときのみ

回転を元に戻すには

[サブメニュー] を押して逆方向の回転を選び、[決定] を押す

縮小を元に戻すには

[サブメニュー] を押して「拡大」を選び、[決定] を押す

お知らせ

● 回転の設定は、本機の電源を切るかメディアを取り出すまで保持されます。
● 縮小の設定は保持されません。

写真 (JPEG) 情報の表示

写真を再生中に

画面表示 を押す

押すごとに表示は切り換わります。

● [サブメニュー] を押して表示することもできます。

撮影日　2010/ 5/ 6　枚数　1/36

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

写真

音楽を再生する

CD MP3

音楽 CD や MP3 が記録された CD-R/RW、DVD-R/R DL および USB 機器を再生することができます。

1 ディスクを入れる (➜ 14) または USB 機器を接続する (➜ 14)

「曲一覧」画面が表示されます。

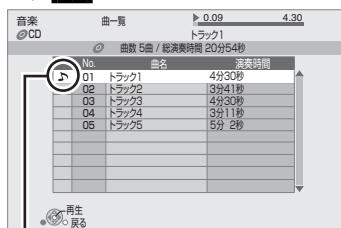
- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で「音楽を聴く（MP3)」を選び、[決定] を押してください。

例）

2 [▲][▼] で曲を選び、決定 を押す

選んだ曲から再生を開始します。

- 自動的に再生が始まるメディアもあります。

例）CD

「♪」は現在再生中の曲を示しています。

3 音量 [+][−] を押して、音量を調整する

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

ヒント

- 早送り・早戻しまたは、スキップ機能も使用することができます。(➜ 28)
- 再生中に 2 分以上操作を行わないと、自動的に画面が切り換わります。（再生は続きます。）

■ 他のメニューから MP3 メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

[スタート] を押して、「メニュー」を選んで切り換える (➜ 15)

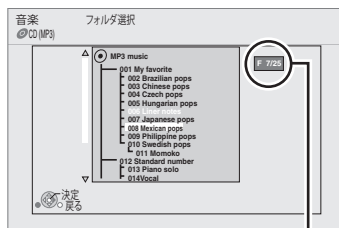
別のフォルダの曲を再生する

- 本機で表示されるフォルダ構造例 ➜ 57

MP3

1 「曲一覧」画面を表示中に サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

例）

選んだフォルダ番号 / 総フォルダ数

フォルダに曲が含まれていない場合、フォルダ番号は「– –」と表示されます。

3 [▲][▼] でフォルダを選び、決定 を押す

選んだフォルダの「曲一覧」が表示されます。

前の画面に戻るには

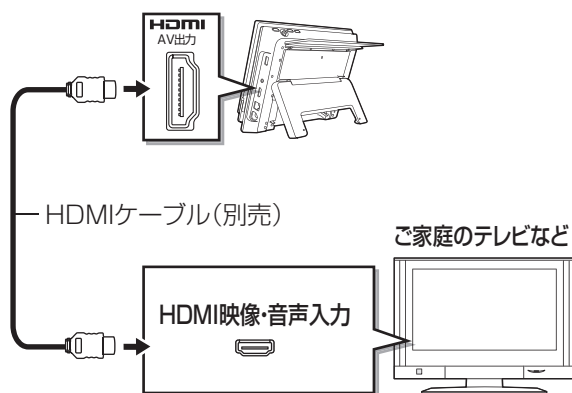
[戻る] を押す

再生できる MP3 が入っていないフォルダは選べません。

テレビなどと接続して楽しむ

HDMI ケーブルで本機をご家庭のテレビなどと接続すると、本機の高画質、高音質の映像と音声をケーブル 1 本で大画面で楽しむことができます。

- **接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。**
- **ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）やアンプと接続すると、連動操作が可能になります。(➜ 40)**
- **HDMI ケーブルは 、HDMI ロゴ (➜ 表紙) のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。**
- **当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。**
  品番：
  RP-CDHS10（1.0 m)、RP-CDHS15（1.5 m)、RP-CDHS20（2.0 m)、RP-CDHS30（3.0 m）など

本機に機器を接続する

- HDMI 対応マルチチャンネルアンプに接続すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD および DTS-HD の高音質をサラウンドで楽しむことができます。(➜ 58)
  （それぞれの音声に対応したアンプ接続時のみ）

1 接続した機器側（テレビなど）の電源を入れ、入力を切り換える

例：入力切換を「HDMI」などにする（接続した機器によっては入力表示名が変わる場合があります）

2 本機で再生を始める

接続した機器に映像や音声が出ます

音声が出ないときは

初期設定「HDMI 音声出力」(➜ 53) を「入」に設定する

お知らせ

- HDMI 接続時、本機の画面では映像の画質が低下しますが、異常ではありません。
- 本機の再生時に接続したテレビ側で音量を上げると、テレビ放送に切り換えたときに大きな音が出ることがあります。切り換える前に接続したテレビの音量を元に戻してください。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは
- 本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5に対応しています。ビエラリンク (HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2009 年 12 月現在）

ビエラリンク (HDMI) を設定する

準備

HDMI ケーブルで本機に機器を接続する (➜ 39)

1 本機側の初期設定「ビエラリンク制御」(➜ 53) を「入」にする（お買い上げ時の設定は「入」）

2 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する
- 設定方法などは接続した機器の取扱説明書をお読みください。

3 すべての機器の電源を入れ、接続した機器の電源を一度切/入したあと、接続した機器の入力を「HDMI入力」に切り換える
- **接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください**

ビエラリンク (HDMI) を使わない場合は
初期設定「ビエラリンク制御」(➜ 53) を「切」にする

- お使いのテレビやアンプがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、機器にビエラリンク (HDMI)のロゴマーク (➜下記) が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

- ビエラリンク (HDMI) が働かなくなった場合は、設定を確かめてください。
  (➜ 67「ビエラリンク (HDMI) が働かない」)

ビエラリンク (HDMI) のいろいろな機能

自動的に接続したテレビの電源を入れ、入力を切り換える

下記の操作を行うと、接続したテレビの入力チャンネルが自動的に切り換わり、本機の画面が表示されます。
– 本機で再生を開始したとき
– メニュー画面が表示される操作を行ったとき ([スタート] や [ポップアップメニュー / 再生一覧] を押したときなど)
– 本機の電源「入」状態で HDMI ケーブルを接続したとき (初回のみ)
- 接続したテレビの電源が待機状態のときに上記の操作を行うと、接続したテレビの電源も自動的に「入」になり、それぞれの画面が表示されます。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）

- 再生を始めた場合、テレビ画面が表示されるまで、再生した映像の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[|◀◀] または [◀◀] を押して再生開始位置まで戻ってください。

自動的に本機の電源を切る

接続したテレビの電源を「切」にすると、接続されているビエラリンク (HDMI) 対応の機器は本機を含めすべて自動的に電源が「切」になります。

- 本機を操作中であっても、自動的に電源が「切」になります。

■ テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビとアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビの電源を切ると本機の電源も切れます。ただし、接続したテレビがビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

① 音楽再生中に、**[サブメニュー]** を押す
② **[▲][▼]** で「TV のみ電源 OFF」を選び、**[決定]** を押す

- テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。
- テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、テレビから音声が出なくなりますので、操作をする前にあらかじめアンプ側から音声が出るようにしてください。

音楽の再生を止めるには
[戻る] を数回押す

テレビの電源は入れたまま、本機の電源のみ切るには
本機のリモコンの **[電源]** を押して、本機の電源を切る

接続したテレビのリモコンで本機を操作する

ビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降に対応したテレビ（ビエラ）と接続している場合は、テレビのリモコンの以下のボタンで本機の操作ができます。

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー] と色ボタン

- 数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用してください。
- ビエラリンク（HDMI)Ver.4 以降対応のビエラと接続している場合、“プレーヤー”の項目を選択後、本機のスタート画面を表示することができます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

- AC アダプターで本機を使用している場合は、上記の操作で本機の電源も入ります。

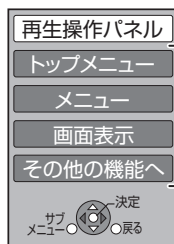
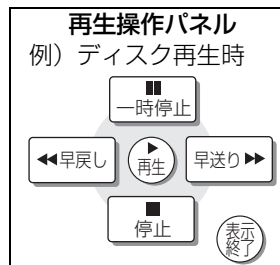
お知らせ

- お使いになれるボタンはテレビにより異なります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのリモコンの対応していないボタンを押すと、本機の操作が中断されることがあります。
- バッテリーパックのみで本機を使用している場合は、本機の電源を入れてから操作してください。(➜ 13)

■「再生操作パネル」を使って操作する

「再生操作パネル」表示中は接続したテレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ)、停止などの操作ができます。

① **[サブメニュー]** を押す

例

② **[▲][▼]** で「再生操作パネル」を選び 、**[決定]** を押す
「再生操作パネル」が表示されます。

- **[▲][▼][◀][▶][決定][戻る]** で操作することができます。

お知らせ

- BD ビデオまたは DVD ビデオのトップメニュー表示中は、**[サブメニュー]** を押しても働かない場合があります。
- 音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

接続

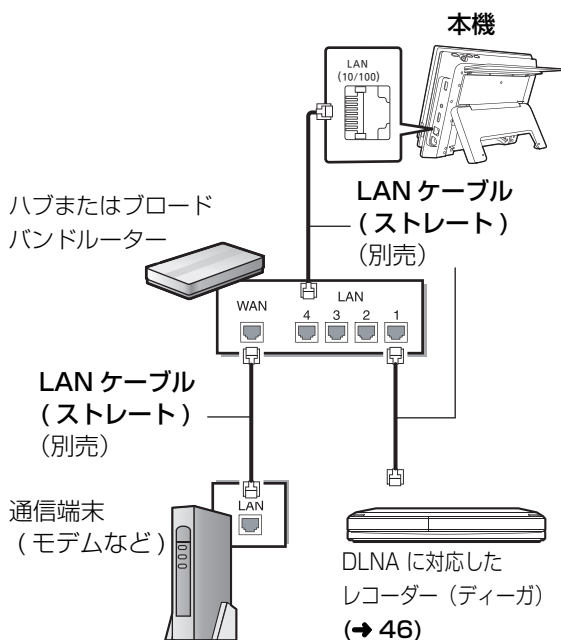
ネットワーク接続をする

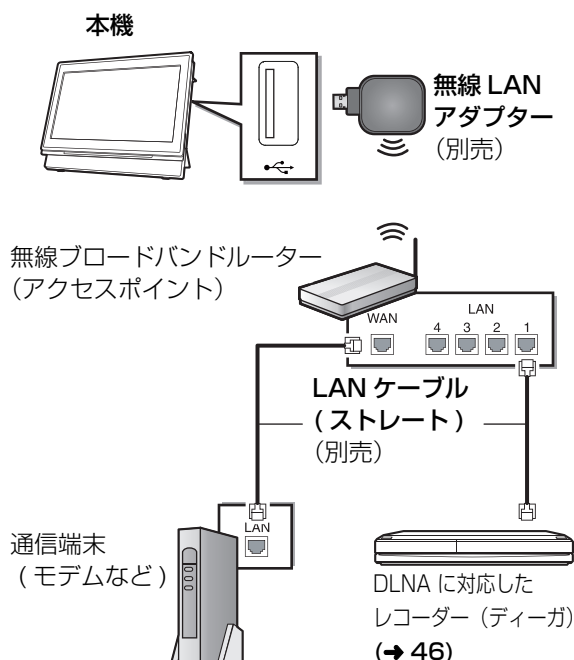
本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや、機能を利用することができます。

– ソフトウェアを更新する (➜ 45)
– BD-Live 対応のディスクを楽しむ (➜ 31)
– インターネットに接続して動画を楽しむ (➜ 46)
– 別の部屋の機器の映像や写真を見る [お部屋ジャンプリンク（DLNA）](➜ 46)
– データ放送を楽しむ (➜ 23)

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

- 使用する機器や接続、通信環境などによってはインターネットにつながらなかったり、正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線LAN への接続には対応しておりません。

LAN ケーブルを使う

- シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- ハブやルーターを経由せず、本機と DLNA に対応したレコーダー（ディーガ）を直接接続することもできます。LAN ケーブルはクロスケーブルをお使いください。

無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を使う

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）以外はご使用できません。DY-WL10（別売）の取扱説明書もよくお読みください。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。
  2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/

かんたんネットワーク設定をする

本機をネットワークに接続してお使いになるための設定です。

- 「かんたん設置設定」(➜ 16 ～ 17) を行ったあと、引き続き「かんたんネットワーク設定」をすることができます。[◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押してください。➜ 手順 6 へ
- 無線接続するには、当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）が必要です。(➜ 42)

準備

ネットワーク接続をする。(➜ 42)

1 スタート **を押す**

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] で「ネットワーク」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼] で「かんたんネットワーク設定」を選び、決定 を押す

6 「有線」または「無線」を選んで 決定 を押す。

かんたんネットワーク設定　接続確認

宅内ネットワークへの接続確認・設定とインターネット接続確認を行います。

はじめに接続形態を選択します。

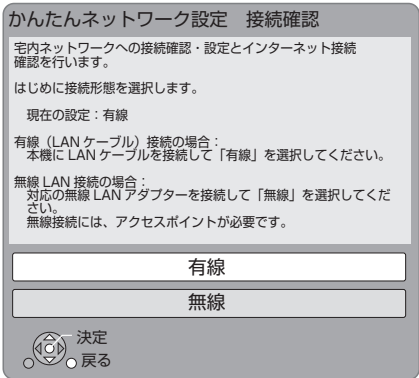
現在の設定：有線

有線（LAN ケーブル）接続の場合：
本機に LAN ケーブルを接続して「有線」を選択してください。

無線 LAN 接続の場合：
対応の無線 LAN アダプターを接続して「無線」を選択してください。
無線接続には、アクセスポイントが必要です。

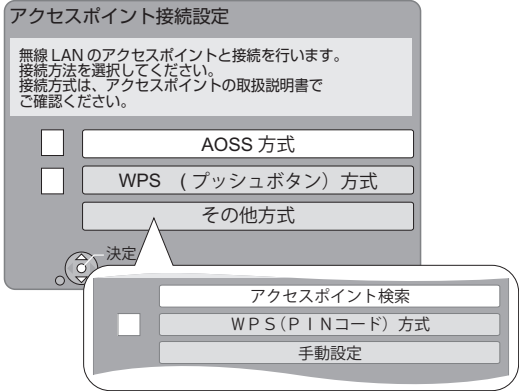
有線

無線

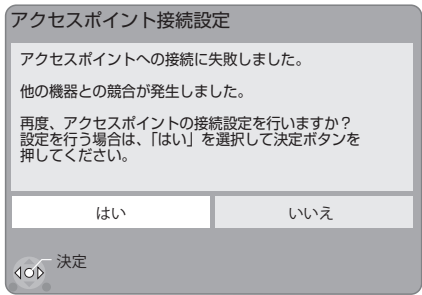
決定
戻る

「無線 LAN アダプターが接続されていません。」と表示が出る場合、無線 LAN アダプターが奥までしっかり挿入されているかの確認、または抜き差ししてください。それでも表示が変わらない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

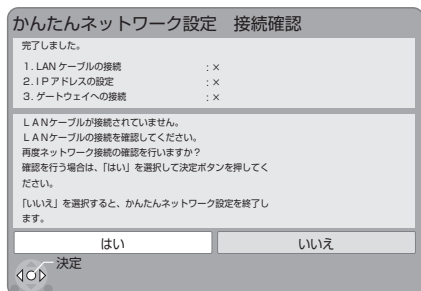
7 画面上の指示に従い、[▲][▼][◀][▶]、および 決定 を使用して設定を行う。

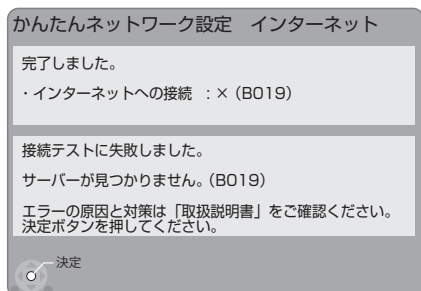
無線接続について

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、「ＡＯＳＳ方式」または「ＷＰＳ（プッシュボタン）方式」を選ぶと、かんたんに設定することができます。また「その他方式」を選んだあと、「アクセスポイント検索」や「手動設定」を選ぶと、認証方式や暗号化方式を手動で設定できます。

- AOSS™、WPS は、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定をかんたんに行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク接続に失敗したときは

アクセスポイントへの接続に失敗

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	● しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側の MAC アドレスなどの設定 ● 電波が弱いことが考えられます。無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って、無線 LAN アダプターの位置を調節してください。 ● アクセスポイント接続設定の SSID（無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前）や暗号化キー ● しばらく待ってから、再度実行してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	
デバイスエラーが発生しました。	● 無線LANアダプターの接続を確認してください。再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
アクセスポイントに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。	● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。

ネットワーク接続に失敗

表示	ここを確認してください
1. ＬＡＮケーブルの接続 または　：× アクセスポイントへの接続 2. ＩＰアドレスの設定　：× 3. ゲートウェイへの接続　：×	● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ● LAN ケーブルの接続 (➜ 42)
1. ＬＡＮケーブルの接続 または　：○ アクセスポイントへの接続 2. ＩＰアドレスの設定　：× 3. ゲートウェイへの接続　：×	● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ● ハブやルーターの接続と設定 ● **初期設定**「IP アドレス / DNS 設定」の設定 **(➜ 54)**
1. ＬＡＮケーブルの接続 または　：○ アクセスポイントへの接続 2. ＩＰアドレスの設定　：○ 3. ゲートウェイへの接続　：×	

インターネット接続に失敗

表示	ここを確認してください
サーバーが見つかりません。(B019)	● **初期設定**「IP アドレス / DNS 設定」の「プライマリ ＤＮＳ」、「セカンダリ ＤＮＳ」設定 **(➜ 54)**
サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	● サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください ● **初期設定**「プロキシサーバー設定」**(➜ 54)** やルーターなどの設定

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- **初期設定**「かんたんネットワーク設定」**(➜ 54)** を選んでネットワーク設定をやり直すことができます。
- **初期設定**「ネットワーク通信設定」**(➜ 54)** で、それぞれの項目を設定し直すこともできます。
- お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能 をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いの上、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID ※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

※　無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

ソフトウェアの更新

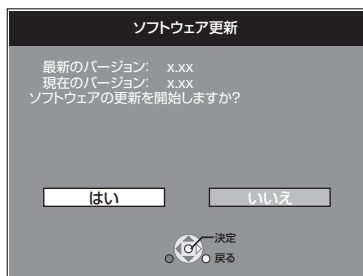
本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的に本機のソフトウェアが最新かどうかの確認をすることができます。

● **ACアダプター接続時のみ (➜ 12)**

準備

● ネットワーク接続をする。(➜ 42)
● **初期設定**「ソフトウェアの自動更新確認」を「入」に設定する (お買い上げ時の設定は「入」)。(➜ 54)

動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。
最新のソフトウェアになっていない場合、下記の画面が表示されます。

[◀][▶] で「はい」を選び、決定 を押す

画面の指示に従って操作してください。
最新ソフトウェアのダウンロード終了後、自動的に更新が始まります。

●「いいえ」を選んだ場合、あとから手動で更新してください。
(➜ 右記「手動でソフトウェアを更新する」)

ソフトウェアの更新が完了すると、本機が再起動され、下記の画面が表示されます。

● ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。
また、故障の原因となりますので、以下の操作は行わないでください。
– 本機の電源を切る
– 電源プラグをコンセントから抜く
– ディスクぶたを開ける

お知らせ

● ソフトウェアの更新は**初期設定**「ソフトウェア更新」を選ぶことで実行できます。(➜ 54)
● ソフトウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、下記のWEBページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることができます。
CD-Rにコピーした後、本機に入れることでソフトウェアを更新することができます。
http://panasonic.jp/support/bd/
ソフトウェアのバージョンを確認するには
(➜ 54、初期設定「バージョン情報」)
● 更新は数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。

本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアかどうかの確認を行わない場合は、**初期設定**「ソフトウェアの自動更新確認」(➜ 54) を「切」に設定してください。

■ 手動でソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアの更新を行わなかった場合、スタート画面 (➜ 15) が表示されているときに、下記のメッセージが表示されます。

初期設定からソフトウェアの
更新を行ってください。

① **[▲][▼]** で「その他の機能へ」を選び、**[決定]** を押す
② **[▲][▼]** で「初期設定」を選び、**[決定]** を押す
③ **[▲][▼]** を押して「設置」を選び、**[決定]** を押す
④ **[▲][▼]** を押して「ソフトウェア更新」を選び、**[決定]** を押す
⑤ **[▲][▼]** を押して「ソフトウェア更新の実行」を選び、**[決定]** を押す
⑥ **[◀][▶]** を押して「はい」を選び、**[決定]** を押す

インターネットを楽しむ

本機をインターネットに接続して動画共有サイトのサービスを楽しむことができます。
- 動画共有サイトのサービスで利用できるサービスの内容や利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

準備

ネットワーク接続と設定をする。(➜ 42 ～ 44)

1 **[モード] を押して「NETWORK」を選ぶ**

2 **[▲][▼] で「テレビでネット」を選び、[決定] を押す**
- 「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。
- 暗証番号の入力画面が表示されたら (➜ 54)

3 **動画共有サイトの項目を選び、[決定] を押す**
- 操作方法は画面の指示に従ってください。

音量を調整するには

[音量 –, +] を押す
- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

動画共有サイトのサービスを終了するには

[モード] を押す

音声がひずむ場合は

初期設定「テレビでネット自動音量調整」を「切」に設定してください。(➜ 54)

ソフトウェアの更新のお知らせが画面上に表示された場合は

ソフトウェアを更新してください。(➜ 45)
更新しない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

お知らせ

- 低速のインターネットサービスをお使いの場合、映像が正しく表示されない場合があります。「テレビでネット」使用時は、6 Mbps の高速インターネットサービスをおすすめします。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

別の部屋の機器の映像や写真を見る [お部屋ジャンプリンク（DLNA）]

本機でネットワークに接続した当社製 DLNA 対応レコーダー（ディーガ）に保存された映像や写真を楽しむことができます。
- 対応するディーガについては、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/
- ディーガの操作については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

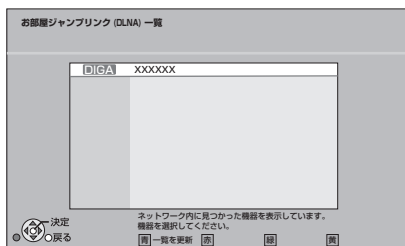
準備

- ネットワーク接続と設定をする (➜ 42 ～ 44)
- ディーガ側の「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」または「ビエラリンク（LAN)」で、本機を登録する
  （本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、47 ページの手順 1 ～ 3 の操作を行ってください）

1 [モード] を押して「NETWORK」を選ぶ

2 [▲][▼] で「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」を選び、[決定] を押す

- ネットワーク接続しているディーガの一覧が表示されます。
- [青] を押すと、一覧を更新することができます。

例）

3 [▲][▼] でディーガを選び、[決定] を押す

- 選んだディーガの画面が表示されます。
以降の操作については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

音量を調整するには

[音量 −, +] を押す

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

音声または字幕を切り換えるには

① 再生中に [再生設定] を押す

② [▲][▼] で設定項目を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼][◀][▶] で設定を変える

- 表示を消すには、[戻る] を押してください。

- ディーガと接続している場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」を「オン」にすると、字幕を表示することができます。(➜ 49)

お知らせ

- ディスクまたは音楽を再生することはできません。また接続しているディーガによっては、写真を再生することはできません。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- 接続したディーガから本機を再生することはできません。
- 本機とディーガ間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

写真再生のいろいろな機能

ディーガに保存された写真を再生するときに以下の操作が行えます。

■ 写真を連続して再生する（スライドショー）

①「写真一覧」画面または写真の入ったフォルダー一覧画面を表示中に [▲][▼][◀][▶] でアルバムを選び、[サブメニュー] を押す
② [▲][▼] で「写真スライドショー開始」を選び、[決定] を押す

■ スライドショーの設定を変更する

上記手順 ① のあと

② [▲][▼] で「写真スライドショー設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で設定する項目を選ぶ (➜ 下記へ)
④ 設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、[決定] を押す

表示間隔

[◀][▶] で表示間隔を選ぶ

リピート再生

スライドショーを繰り返します。

■ 写真 (JPEG) を回転する

- スライドショー再生中はできません

① 写真を再生中に [サブメニュー] を押す
② [▲][▼] で「右９０゜回転」または「左９０゜回転」を選び、[決定] を押す

■ 写真 (JPEG) 情報の表示

① 写真を再生中に [サブメニュー] を押す
② [▲][▼] で「画面表示」を選び、[決定] を押す

放送設定を変える（放送設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

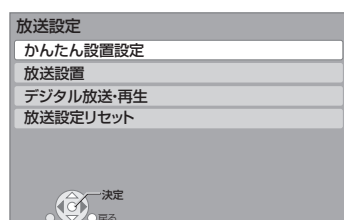
1 モード を押して、「TV」を選ぶ

2 サブメニュー Ⓢ を押す

3 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] で「放送設定」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

6 [▲][▼] で設定項目を選び、決定 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

7 [▲][▼][◀][▶] で設定内容を変更する

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

- 操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

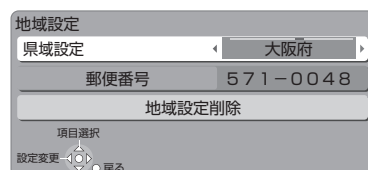
かんたん設置設定

➜ 16 〜 17

放送設置

チャンネル設定

➜ 50

地域設定

県域設定

- お住まいの都道府県を設定します。
- 伊豆、小笠原諸島地域は ➜「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は ➜「鹿児島県島部」

郵便番号

リモコンの [1] 〜 [10] でお住まいの地域の郵便番号を入力します

番号を間違えたときは

[黄] を押す

地域設定削除

「はい」を選ぶと、設定をお買い上げ時の状態に戻します。

受信設定

[決定] を押し、さらに設定します。
映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの角度や本機の位置を変えてください。
- 入力レベルは、天候、季節、地域などによって異なります。
- 外部アンテナ接続時 (➜ 16) は、アンテナの説明書をご覧ください。

内蔵アンテナ受信感度
(電波が強すぎて映像が不安定になる場合は「通常感度」にしてください)

物理チャンネル選択
(➜下記)

アンテナレベル（44以上が目安です）

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。
- アンテナレベルはチャンネルによって異なります。上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、**[決定]** を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、**[決定]** を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。
- ワンセグ放送視聴時でも、上記画面表示中は、テレビ放送の画面は地上デジタル放送の映像・音声に切り換わります。

miniB-CAS カードテスト

miniB-CAS カードの動作を確認します。

テスト中：　テスト中
「OK」：　正しく動作しています。
「NG」：　電源を切り、AC アダプターを外したあと、miniB-CAS カードを抜き差しして、もう一度 miniB-CAS カードテストを行ってください。

デジタル放送・再生

字幕の設定

デジタル放送の字幕や、文字スーパー (番組からのお知らせ) などを表示させるための設定です。

- 放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

選局対象

デジタル放送で **[チャンネル ∨,∧]** を押して順送りできるチャンネルを設定することができます。
- ワンセグ放送視聴時では、「テレビ」、「データ」は「すべて」と同じです。

▷　設定チャンネル：　チャンネル設定で設定されている 1 ～ 36 までのチャンネル
▷　テレビ：　テレビ放送（映像＋音声）
▷　データ：　データ放送
▷　すべて：　受信できるすべてのチャンネル

放送設定リセット

個人情報リセット

初期設定 (➜ 51 ～ 54) と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）も消去します。
廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。
[決定] を3秒以上押して、さらに設定します。

設定

チャンネル設定を修正する

1 モード を押して、「TV」を選ぶ

2 サブメニュー S を押す

3 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] で「放送設定」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼] で「放送設置」を選び、決定 を押す

6 [▲][▼] で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

7 決定 を押す

ホーム選局リストの設定方法選択
次の場合には、何も受信しない可能性があります。
・アンテナの受信レベルが低い
・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない
初期スキャン　再スキャン　マニュアル
項目選択　決定　戻る

受信できる局を自動で探す（初期スキャン）

以下のような場合に実行してください。
－ 新しくチャンネルを設定し直したいとき
－ 引っ越しなどで受信地域が変わって再設定するとき

上記手順 7 のあと

8 [◀][▶] で「初期スキャン」を選び、決定 を押す

9 [◀][▶] で本機を使用している場所に該当する地域を選び、決定 を押す

- 本機を使用している場所に該当する地域が登録されていない場合は、同じ都道府県や近郊の地域を選んでください。

10 設定内容を確認し、戻る を押す

受信できる局を追加する（再スキャン）

受信状況が変わったときに実行すると、チャンネルを追加します。

上記手順 7 のあと

8 [◀][▶] で「再スキャン」を選び、決定 を押す

9 設定内容を確認し、戻る を押す

チャンネル設定を修正する（マニュアル）

設定したチャンネル設定を個別に修正したいときに実行してください。

左記手順 7 のあと

8 [◀][▶] で「マニュアル」を選び、決定 を押す

9 [▲][▼] で修正したいチャンネルを選び、決定 を押す

- [▲][▼] を押すと、テレビ放送の画面も変更後のチャンネルの映像・音声に切り換わります。

10 [▲][▼] で「地上 D 設定」または「ワンセグ設定」を選び、[◀][▶] で修正する

- [◀][▶] を押すと、テレビ放送の画面も変更後のチャンネルの映像・音声に切り換わります。

11 戻る を押す

■ **チャンネルの順番を入れ換えるには**

チャンネル一覧画面表示中に

① [緑] を押す
② [▲][▼] で入れ換えをしたい行（チャンネルポジション）を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で入れ換え先の行（チャンネルポジション）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

お知らせ

電源を切っても設定は保持されます。同じ場所でテレビを見る場合、再度チャンネルを設定する必要はありません。

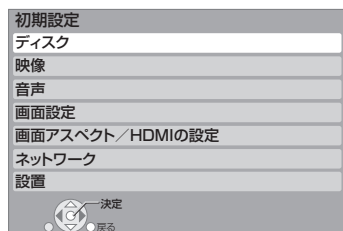
本機の設定を変える（初期設定）

1 スタート **を押す**

2 **[▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

3 **[▲][▼] で「初期設定」を選び、決定 を押す**

4 **[▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す**

5 **[▲][▼] で設定項目を選び、決定 を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 **[▲][▼][◀][▶] で設定内容を選び、決定 を押す**

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

前の画面に戻るには

［戻る］を押す

画面を消すには

［戻る］を数回押す

お知らせ

- ［サブメニュー］を押して、「その他の機能へ」を選んで表示することもできます。
- 操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

暗証番号について

下記の項目の暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

- 「DVD-Video の視聴制限」(➜ 右記)
- 「BD-Video の視聴可能年齢」(➜ 右記)
- 「BD-Live インターネット接続」(➜ 52)
- 「テレビでネット視聴制限」(➜ 54)

ディスク

DVD-Video の視聴制限

DVDビデオの視聴制限ができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10]で 4 けたの暗証番号 (➜ 左記) を入力してください。

▷ レベル 8 すべて視聴可:
すべての DVD ビデオが視聴可

▷ レベル7～1:
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可

▷ レベル 0 すべて視聴不可:
すべての DVD ビデオが視聴不可

BD-Video の視聴可能年齢

BDビデオの視聴可能な下限年齢が設定できます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で 4 けたの暗証番号 (➜ 左記) を入力してください。

▷ 無制限:
すべての BD ビデオが視聴可

▷ 0 歳～21 歳:
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可

▷ 年齢入力:
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可

音声言語

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」を選ぶとディスクの最優先言語で再生します。
- 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、[1] ～[10] で言語番号 (➜ 79) を入力してください。

字幕言語

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
- 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、[1] ～[10] で言語番号 (➜ 79) を入力してください。

メニュー言語

画面に表示される言語を選びます。

- 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。
- 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、[1] ～[10] で言語番号 (➜ 79) を入力してください。

BD-Live インターネット接続

BD-V

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で 4 けたの暗証番号 (➜ 51) を入力してください。

▷ 有効：
すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可
▷ 有効(制限付き)：
BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可
▷ 無効
すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可しない

AVCHD 優先モード

BD-V AVCHD AVCREC

ハイビジョン画質の番組 (AVCREC) とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクを再生するとき、優先して再生する映像を設定します。

▷ 入: ハイビジョン動画（AVCHD）を再生
▷ 切: ハイビジョン画質の番組 (AVCREC) を再生

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

▷ オート
▷ フィールド：
動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき
▷ フレーム：
「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき

シームレス再生

部分消去した部分などの再生する状態が選べます。
（AVCHD の動画には、この設定は無効）

▷ 入:
なめらかに再生（早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。）
▷ 切:
精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

「入」にすると、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に対し、小音量でもセリフを聞き取りやすくする効果が働きます。

- 「オート」を選ぶと、Dolby TrueHD のとき、コンテンツ意図に従います。

デジタル出力

[決定] を押し、設定する音声を選んで、
さらに設定します。

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD
DTS/DTS-HD
AAC

出力信号 (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS Digital Surround、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) を、接続機器側で処理を行う「Bitstream」で出力するか、本機で「PCM」に処理して出力するかを設定します。

▷ Bitstream：
接続機器がそれぞれの音声をデコードできるとき
▷ PCM：
接続機器がそれぞれの音声をデコードできないとき

それぞれの音声をデコードできるかどうかは、接続した機器の説明書をご覧ください。

- HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。（例：テレビとHDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます）
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音

（副音声を含む BD-V）

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

▷ 入:
サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。
上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含む BD ビデオ再生時は、Dolby Digital または DTS の Bitstream に変換します。
▷ 切:
オリジナルの音声方式を出力するとき

デジタル出力について詳しくは
➜ 58「デジタル出力される音声と設定の関係」

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックス (➜ 68) の方法を切り換えることができます。

▷ ノーマル:
サラウンドに対応していない機器（テレビなど）に接続
▷ ドルビーサラウンド：
2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続

- **初期設定**「デジタル出力」(➜ 52) が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 以下の場合は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。
  – AVCHD 再生時
  – BD ビデオ（副音声や操作音を含む）再生時

画面設定

画面表示動作〔オート〕

操作状態を本機の画面に自動的に表示するか設定します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。「入」に設定すると、10 分以上操作を行わないと、再生一覧画面が自動的にスタート画面に切り換わります。

- 再生中や一時停止中などの操作中は働きません。
- フォトフレーム再生中 (➜ 34) は働きません。
- CD-DA 方式のデータや MP3 の再生一覧画面は、設定に関係なく、自動で他の画面に切り換わります。

画面アスペクト /HDMI の設定

画面アスペクト

本機および接続したテレビの画面に働きます。

▷ **4:3 パン&スキャン**：
4:3 テレビに接続して映像を見たいとき
16:9 の映像は、左右の切れた映像で表示（パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します）

▷ **4:3 レターボックス**：
4:3 テレビに接続して映像を見たいとき
16:9 の映像は、上下に帯のある映像で表示

▷ 16:9：
本機または 16:9 ワイド画面テレビに接続して映像を見たいとき
4:3 の映像は、4:3 の比率のまま画面中央に表示
▷ 16:9 フル：
本機または 16:9 ワイド画面テレビに接続して映像を見たいとき
4:3 の映像は、左右に引き伸ばされて表示

HDMI 接続

[決定] を押して、さらに設定します。

HDMI 出力解像度

接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、「480p」に設定するか、再度正しく設定してください。

- 「オート」を選ぶと、1080p、1080i、720p、480p の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。

24p 出力

BD-V DVD-V

映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

- 1080/24p に対応したテレビの HDMI 端子と接続した場合、「入」にできます。
- DVD-V
  この設定を「入」にして、**再生設定**「映像」メニューの「24p」(➜ 30) を「入」にすると 24p 出力します。

▷ 入：
24p 素材をそのまま 24p で出力
– BD-V 24p 以外の素材は 60p で出力されます。
▷ 切

HDMI RGB 出力レンジ

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

- 「エンハンス」を選ぶと、映像の黒白が鮮明でないときに有効です。

HDMI 音声出力

音声を HDMI 端子から出力するかどうかを設定します。

ビエラリンク制御

- 「入」にすると、ビエラリンクによる連動操作を設定します。

コンテンツタイプフラグ

コンテンツタイプフラグ対応テレビと接続時に、再生する内容によってテレビ が最適な方法に調整し出力します。

ネットワーク

かんたんネットワーク設定

➜ 43

ネットワーク通信設定

通常は設定不要です。
[**決定**] を押して、さらに設定します。

LAN 接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

アクセスポイント接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。
[**決定**] を押して、さらに設定します。

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が 2.4 GHz の場合、通信速度を設定します。
- 「倍速モード （40MHz）」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなる恐れがあります。そのためかえって通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス / DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。
[**決定**] を押して、さらに設定します。
- 「接続速度設定」は「接続速度自動設定」が「切」時のみ有効です。

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。
[**決定**] を押して、さらに設定します。

テレビでネット設定

[**決定**] を押して、さらに設定します。

テレビでネット視聴制限

「テレビでネット」の視聴制限ができます。
- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで 4 けたの暗証番号 (➜ 51) を入力してください。

テレビでネット自動音量調整

コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。
- コンテンツによっては、効果がない場合があります。
- 音声がひずむ場合は「切」に設定してください。

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

設置

無操作電源 [切]

- メディア操作中のみ

「入」にすると、停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます。

時刻合わせ

本機で表示される日付や時刻を設定します。
- テレビ放送を受信すると、「日付」および「時刻」は自動的に設定されます。

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。
- AC アダプター接続時のみ働きます。(➜ 12)
- 「入」にすると、内部の制御部が部分的に通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力 (➜ 74) が増えます。

初期設定リセット

以下の設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
- · DVD-Video の視聴制限
- · BD-Video の視聴可能年齢
- · かんたんネットワーク設定
- · LAN 接続形態
- · アクセスポイント接続設定
- · IP アドレス / DNS 設定
- · プロキシサーバー設定
- · 時刻合わせ

- 放送設定の項目は変わりません。

DivX 登録コード

DivX (➜ 33)
DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルを購入または再生する場合に必要です。

バージョン情報

本機のソフトウェアや無線 LAN アダプターのバージョン情報などを表示します。

ソフトウェア更新

[**決定**] を押して、さらに設定します。

ソフトウェアの自動更新確認

「入」にすると、本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアかどうかの確認を行います。

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新ができます。

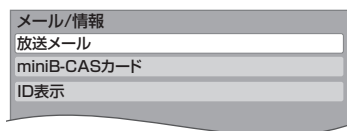
いろいろな情報を見る（メール/情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

1 モード **を押して、「TV」を選ぶ**

2 スタート **を押す**

3 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

4 **[▲][▼]で「メール / 情報」を選び、決定 を押す**

5 **[▲][▼] で項目を選び、決定 を押す**

前の画面に戻るには
　[戻る] を押す
画面を消すには
　[戻る] を数回押す

放送メール

放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）などがあります。

[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- メールの送信や返信はできません。

miniB-CASカード

miniB-CASカードの番号を表示します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには
- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

MP3/JPEG/AVCHD/MPEG2/DivX ファイルについて

MP3

ファイルフォーマット	MP3
拡張子	".mp3" 、".MP3"
対応ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
再生可能なサンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz
備考	ID3 タグ : バージョン 1/2.2/2.3/2.4（表示できる情報はタイトルとアーティストの名前のみ）

JPEG

ファイルフォーマット	JPEG
拡張子	".jpg"、".JPG"
画素数	34×34 ～ 8192×8192 画素 (サブサンプリング : 4:2:2、4:2:0)
備考	DCF ※1 に準拠した JPEG ● MOTION JPEG、Progressive JPEG : 非対応

※ 1　Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）] にて制定された統一規格

- DVD-RAM の使用できるフォーマット : UDF 2.0
- BD-RE の使用できるフォーマット : UDF 2.5

AVCHD

ファイルフォーマット	**デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した AVCHD 規格 (V1.0)（他社製を含む）**
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

- ディスクの使用できるフォーマット : UDF 2.5

MPEG-2

ファイルフォーマット	**SD ビデオカメラで記録した SD ビデオ規格※2（他社製を含む）**
圧縮方式	MPEG-2

※ 2　SD-Video Entertainment Video Profile 形式

DivX

ファイルフォーマット	DivX
拡張子	".DIVX"、".divx"、".AVI"、".avi"
画素数	32×32 ～ 1920×1080 画素
備考	● プレミアムコンテンツを含む HD 1080p までの DivX ビデオを認定 **映像** – ストリーム数 : 1 まで – コーデック : DIV3、DIV4、DIVX、DX50、DIV6 – FPS (Frame Per Second) : 60 fps まで **音声** – ストリーム数 : 8 まで – フォーマット : MP3、MPEG、Dolby Digital – マルチチャンネル : Dolby Digital MPEG マルチは 2 ch に変換 ● GMC (Global Motion Compensation) : 非対応

- DVD-R および DVD-R DL の使用できるフォーマット : UDF 1.02 または UDF 1.5（ISO9660）
- BD-R の使用できるフォーマット : UDF 2.5

お知らせ

- 英数字以外の文字は、正しく表示されないことがあります。
- メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なる場合があります。
- データの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。
- 記録状態によっては再生できない場合があります。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、再生開始までに時間がかかったり、再生できないことがあります。
- CD-R/RW の使用できるフォーマット : ISO9660 level1 および level2 (拡張フォーマットを除く)、Joliet
  本機はマルチセッションに対応しています。
  本機はパケットライト方式 (データ記録方式のひとつで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) に対応していません。
- DVD-R および DVD-R DL の使用できるフォーマット（AVCHD を除く）: ISO9660 level1 および level2 (拡張フォーマットを除く)、Joliet
  本機はマルチセッションに対応していません。
  本機はパケットライト方式 (データ記録方式のひとつで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) に対応していません。

■ 本機で表示されるフォルダ構造例

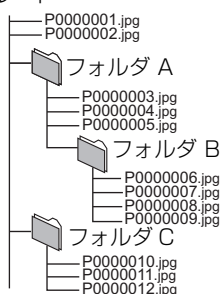
メディア上に下記のようなフォルダを作成することで本機でファイルを再生することができますが、データの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。

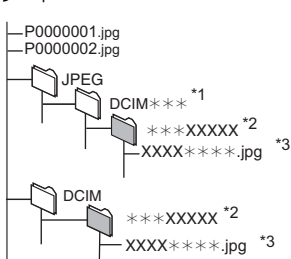
: 表示されるフォルダ

∗∗∗: 数字
XXXXX: 半角文字
※ 1　∗∗∗：001 から 999 まで
※ 2　∗∗∗：100 から 999 まで
　　　XXXXX：5 けた
※ 3　∗∗∗∗：0001 から 9999 まで
　　　XXXX：4 けた

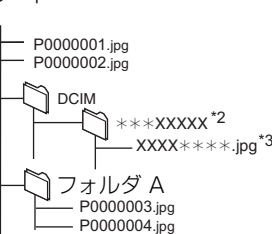
写真（JPEG）のフォルダ構造

DVD-R ※4/DVD-R DL ※4/CD-R ※5/CD-RW ※5

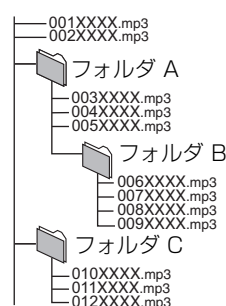
フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。

BD-RE ※6/DVD-RAM ※4

● フォルダを表示することはできません。

SD カード※4/USB 機器※4

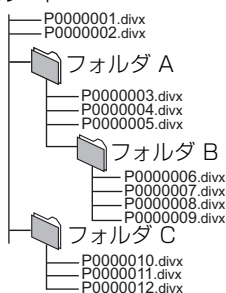
全フォルダ内の JPEG ファイルを表示します。

● フォルダを表示することはできません。

MP3 のフォルダ構造

DVD-R ※7/DVD-R DL ※7/CD-R ※7/CD-RW ※7/USB ※7 機器

再生したい順に3けたの番号を付けてください。

DivX のフォルダ構造

BD-R ※8/DVD-R ※8/DVD-R DL ※8/CD-R ※8/CD-RW ※8/USB 機器※8

フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。

※ 4　フォルダ数：メディア上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
　　　ファイル数：最大 3000 ファイル
　　　（JPEG 以外のファイルとの合計とする）
※ 5　フォルダ数：メディア上のルートまたは上位フォルダを含む最大 99 フォルダ
　　　ファイル数：最大 999 ファイル
　　　（JPEG 以外のファイルとの合計とする）
※ 6　フォルダ数：メディア上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
　　　ファイル数：最大 9999 ファイル
　　　（JPEG 以外のファイルとの合計とする）
※ 7　フォルダ数：メディア上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
　　　ファイル数：最大 3000 ファイル
※ 8　フォルダ数：メディア上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
　　　ファイル数：最大 200 ファイル

デジタル出力される音声と設定の関係

[表内の ch(チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream※ 1</th><th colspan="2">PCM※ 2</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</th><th>入※ 3</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX</td><td rowspan="3">Dolby Digital</td><td rowspan="6">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2" rowspan="6">5.1ch PCM</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus</td></tr>
<tr><td>Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">5.1ch PCM</td></tr>
</table>

※ 1　接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 2　接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 3　BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(**➜ 52**) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

マーク	内容
	テレビ放送（映像＋音声）の番組
	データ放送の番組
	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
	映像や音声などの信号切り換えできる番組
	モノラル音声の番組
	ステレオ放送の番組
	5.1ch などのサラウンド放送の番組
	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
	アナログ出力しない番組（音声も出力されません）
	番組とは別のデータ放送を行っている番組
	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p） （デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i）
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
	字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組

その他の画面

マーク	内容
	高画質（VGA）の持ち出し番組 (➜ 26)
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）(➜ 55)
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール（既読メール）(➜ 55)
	再生中の曲 (➜ 38)

こんな表示が出たら

起動時や操作中に異常が起こった場合、本機の画面に以下のメッセージやサービス番号が表示されます。

ランプの点滅

[CHARGE] ランプがはやく点滅

- バッテリーパックに異常が発生しました。電源を入れて画面の表示をご確認ください。(➜ 61)
- ソフトウェアの更新が正常に終了しませんでした。更新をやり直してください。(➜ 45)

[CHARGE] ランプがゆっくり点滅

- バッテリー残量が少なくなっています。(数分すると、電源が切れます)

SD カードアクセスランプが点滅

- 本機が SD カードを読み込み中、または SD カードに書き込み中です。本機から SD カードを取り出さないでください。

画面の表示

現在、受信できません。

- アンテナの角度や本機の位置を変えてみてください。
- 外部アンテナと接続している場合は、接続を確認してください。(➜ 16)

miniB-CAS カードを正しく挿入してください。

- miniB-CAS カードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。(➜ 11)

再生できません。

- 非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。(➜ 8)

本機では再生できません。

- 非対応の画像を再生しようとしています。(➜ 56)
- SD カードを入れ直してください。(➜ 14)

ディスクが入っていません。

- ディスクが裏返しになっていませんか。(➜ 14)

⃠ この操作はできません。

- 本機が操作を制限しています。
  例：BD-V 逆スローできません。

⃠ この操作はディスクにより禁止されています。

- ディスクによっては、映画の予告編や警告画面の再生中に、サーチやスキップができない場合があります。(➜ 28)

DivX(R) VOD 認証エラー この番組を再生することを本機は許可されていません。

- DivX 異なった登録コードで購入した DivX VOD ファイルを再生しようとしています。本機では再生できません。

この DivX(R) VOD レンタル番組は無効です。

- DivX DivX VOD ファイルの残り再生回数がありません。

接続できませんでした。 LAN ケーブルの接続を確認してください。

- ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消灯しているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。(➜ 42)

IP アドレスが設定されていません。

- **初期設定**「IP アドレス / DNS 設定」で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください。) (➜ 54)

IP アドレスが取得できませんでした。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。

- ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。(➜ 42)
  – ルーターにつなぐ側のポートは、UPLINK につないでください。
  – ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。
  上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。

IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。

- 本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターの IP アドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。

接続テストを実行できませんでした。 アドレスが正しく設定されませんでした。

- 一度、電源を「切」にし、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続テストに失敗しました。
ゲートウェイが応答しません。
ルーターとの接続や設定をご確認ください。

- ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。**(➜ 42)**
  - – ルーターにつなぐ側のポートは、UPLINK につないでください。
  - – ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。
- **初期設定**「IP アドレス / DNS 設定」で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。**(➜ 54)**
- MAC アドレスが必要な場合は、**初期設定**「ネットワーク通信設定」を表示してご確認ください。**(➜ 54)**

ネットワークへ接続できません。
初期設定「ネットワーク通信設定」または「BD-Live インターネット接続」を確認してください。

- **初期設定**「BD-Live インターネット接続」を「有効（制限付き)」に設定して、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれていないディスクを再生した場合、インターネットへの接続は許可されません。インターネットへの接続を許可する場合は、「BD-Live インターネット接続」を「有効」に設定してください。**(➜ 52)**

セキュリティーが低い設定になっています。設定の変更をおすすめします。

- 安全のために、無線 LAN の暗号化方式を「AES」にしてください。DLNA 対応機器から映像などを再生する場合は、暗号化が必要になります。

ERROR U580

- バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。**(➜ 80 〜 81)**

ERROR U581

- 充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。

ERROR U582

- 暑いまたは寒い場所で充電しています。常温の場所で充電してください。

U72
U73

- HDMI 接続時に異常が発生しました。
  - – 接続機器が HDMI に対応していません。
  - – HDMI ロゴの付いたケーブルをお使いください。
  - – HDMI ケーブルが破損しています。

U76

- HDMI 端子と接続した機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護された BD-RE、BD-R、BD ビデオ、DVD ビデオおよび AVCREC 記録方式のディスクは再生できません。

U77

- お使いの BD-RE、BD-R、BD ビデオ、DVD ビデオまたは AVCREC 記録方式のディスクは著作権情報が不正なため映像は出力されません。

F □□
H □□
(□□は数字)

- 異常が発生しました。(「F」または「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります）電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

処置をしても「F □□」、「H □□」または「U □□」が消えないときは
お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください。**(➜ 80 〜 81)**
その場合、画面に表示される番号をお知らせください。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 次のような場合は、故障ではありません

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 長時間使うと、本体表面が多少熱くなる。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。
- 電源「入」時などに動作音がする。

■ 本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機のお手入れなどをするときは、電源を切ってから 3 分以上待ってください。

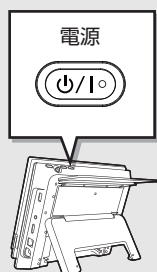
- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ソフトウェアを更新していますか？

- 動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。(➜ 45)

■ 本機が操作を受けつけなくなったときは

各種安全装置が働いていることがあります。

① 本体の [**電源** ⏻/I] を押し、電源を切る
- 切れない場合は、約 3 秒間押し続けると強制的に切れます。

② AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付ける

③ 本体の [**電源** ⏻/I] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

お買い上げ時の設定に戻す

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻す

➢ **初期設定**「初期設定リセット」で「する」を選びます。(➜ 54)

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

➢ **放送設定**「個人情報リセット」で「はい」を選びます。(➜ 49)

電 源

電源が入らない

➢ バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。(➜ 12)

➢ 高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。
本機およびバッテリーパックは 5 ℃～ 35 ℃の間で使用してください。

➢ [**電源**] を長く押してみてください。

➢ 電源「切」直後は、電源が入らない場合があります。「BYE」の表示が消えてから [**電源**] を押し、電源を入れてください。

勝手に電源が切れる

➢ バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。(➜ 12)

➢ **初期設定**「無操作電源 [切] 」が働いていませんか。(➜ 54)

➢ 電源を入れ直してください。(➜ 13)

➢「フォトフレームオフタイマー」が働いていませんか。(➜ 35)

➢ オフタイマー機能が働いていませんか。(➜ 13)

➢ 各種安全装置が働いていることがあります。[**電源**] を押し、電源を入れてください。

➢ ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。ビエラリンク (HDMI) を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。(➜ 53)

充電できない
([CHARGE] ランプが点灯しない)

➢ 高／低温下では、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。

➢ バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。(➜ 12)

充電しても再生時間が極端に短い

➢ バッテリーパックの寿命です。(充電回数 : 約 300 回が目安)

ボタン操作

各ボタン操作ができない

- 再生するメディアや操作する機能を間違って選んでいませんか。(➜ 6、7、15)
- メディアや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。
- 特定の操作を禁止しているディスクもあります。
- 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。
- 操作パネル (➜ 6) は、指で軽く触れてください。爪の先で押したり、手袋をはめた状態で押すと、反応しない場合があります。

リモコンで操作できない

- 電池の ⊕ ⊖ を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものと交換してください。(➜ 7)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。(➜ 7)
- リモコンと本体の間に障害物などがありませんか。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
  移動やお手入れなどをするときは、AC アダプターを外して 3分以上待ってから移動させてください。本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

起動が遅い
電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる

- **初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。(➜ 54)

液晶画面

液晶画面が暗い

- LCD (液晶) メニューの「画質モード」で明るさを調整してください。(➜ 13)

液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する

- カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。

液晶画面に映像が映らない

- LCD (液晶) メニューの「出画」が「切」になっていませんか。(➜ 13)

表示していた映像が消える

- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10 分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。(➜ 53)

映像が乱れる

- 早送り／早戻し時、多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
- 本機でワンセグ放送を受信する場合、画像が粗くなったり、映像の動きがなめらかでない場合がありますが、故障ではありません。
- HDMI 接続時、本機の画面では画質が低下します。(➜ 39)

映像再生中に残像が生じる

- **再生設定**「3D NR」または「Integrated NR」を「0」にしてください。(➜ 30)

画質を調整しても映像が変わらない

- 映像によっては効果が得られない場合があります。

テレビ放送

映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

- **放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。(➜ 49)

地上デジタル放送が受信できない

- お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。
  受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できません。
- 外部アンテナと接続時、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを使用していますか。現在の地上アナログ放送用UHFアンテナが、視聴地域の特定チャンネルに対応していない場合や、受信方向が異なる場合は、アンテナの増設が必要です。
- **放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。レベルが高い、または低い場合は、「内蔵アンテナ受信感度」の設定を変更すると、受信できる場合があります。(➜ 49)

字幕や文字スーパーが出ない

- 字幕や文字スーパーのある番組の場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。(➜ 49)

番組表

番組表が表示されない

- 本機を初めてご使用のときは、番組表が表示できていません。チャンネルを設定してください。(➜ 16)
- AC アダプターを接続した状態で電源「切」にすると、最新の番組表を自動的に受信します。(➜ 19)
- お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱い場合など）は、データが取得できません。
- ワンセグ放送の番組表は、すべては表示されません。

音 声

本機のスピーカーから音が出ない

- ヘッドホンを抜いてください。
- 音量を調整してください。(➜ 6、7)
- **DivX** ファイルの作りかたによっては、音声が出力されない場合があります。

雑音が聞こえる

- 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか。

音声効果が働かない

- 音声効果が働かなかったり、出にくいディスクもあります。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

- **初期設定**「ダウンミックス」を「ノーマル」にしてください。(➜ 53)

音声が切り換えられない

- HDMI端子でアンプと接続していませんか。**初期設定**「デジタル出力」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定してください。(➜ 52)
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

再生

再生できない (またはすぐに停止する）

- 寒いところから急に暖かいところへ持ち込むと「つゆつき」が発生し、再生できない場合があります。
  設置場所の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間)、電源を切ったまま放置してください。
- 再生できるディスクかどうか確認してください。(➜ 8)
- ディスクが汚れていませんか。(➜ 5)
- ディスクを正しくセットしてください。(➜ 14)
- ディスクに CD-DA（**CD**）と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。
- 記録済みのディスクが入っていますか。
- カートリッジ付きのディスクは再生できません。
- **[モード]** を押して「DISC」、「SD」または「USB」に切り換えてください。
- **DivX** DivX VOD ファイルを購入したホームページをご確認ください。

再生されるまでに時間がかかる

- HDMI ケーブルと接続しているときは、再生されるまでに時間がかかります。
- 静止画データの入ったMP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。

再生の映像が乱れたり、正しく再生されない

- 2倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

映像が停止する

➢ **DivX** 2 GB 以上の容量のある DivX ファイルは再生が停止する場合があります。

映像の先頭から再生が始まらない

➢ 続き再生メモリー機能が働いています。映像の先頭から見たい場合は、[|◀◀] を数回押して映像の先頭に戻ってください。

映像や音声が一瞬止まる

➢ シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。

➢ DVD-R DL など 2層にまたがって記録されているディスクを再生すると、層の変わり目で音声や映像が途切れることがあります。

BD ビデオや DVDビデオを再生できない

➢ ディスクのリージョンコード / リージョン番号を確認してください。

➢ 視聴制限が設定されている場合、**初期設定**「DVD-Video の視聴制限」や「BD-Video の視聴可能年齢」を変更してください。(➜ 51)

BD ビデオの副映像を再生できない

➢ 副映像のあるディスクであることを確認してください。

BD-Live 対応ディスクを再生できない

➢ ネットワークの接続や設定を確認してください。(➜ 42 〜 44)

➢ BD-Live 対応ディスクであることを確認してください。

➢ SD カードの残量が十分か確認してください。

➢ SD カードが書き込み禁止でないか確認してください。(➜ 10)

➢ **初期設定**「BD-Live インターネット接続」を確認してください。(➜ 52)

➢ SD カードが SD カードスロットに正しく入っているか確認してください。(➜ 14)

音声言語や字幕言語が切り換えられない

➢ ディスクに複数の言語が収録されていますか。

➢ **再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。(➜ 25、30)

市販ディスクの字幕が出ない

➢ ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。(➜ 30)

アングルを切り換えられない

➢ ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。

BD ビデオや DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

➢ 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。メディアを本機から取り出した状態で、本体の [**サブメニュー**] と [|◀◀] を 5 秒以上押すと視聴制限を解除します。

スロー再生が戻り方向に働かない
コマ送り (戻し) が正しく働かない

➢ **BD-V** **AVCHD** スロー再生は戻り方向には働きません。

➢ **BD-V** **AVCHD** コマ戻しはできません。

➢ **SD VIDEO** スロー再生およびコマ送り (戻し)はできません。

続き再生メモリー機能が働かない

➢ 記憶した位置は、以下の場合解除されます。
- [■] (**停止**) を数回押す
- メディアを取り出す
- 電源「入」時に、停電になったり、AC アダプターが外れたり、バッテリーパックの残量がなくなるなどで電源が切れる

➢ メディアによっては働かない場合があります。

ハイビジョン動画（AVCHD）の記録されたディスクを再生できない

➢ ハイビジョン動画（AVCHD）とハイビジョン画質の番組（AVCREC）が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD 優先モード」を「入」にしてください。(➜ 52)

フォトフレーム

画像や動画が表示されない

➢ SD カードが入っているか確認してください。(➜ 14)

➢ 本機で対応しているフォーマットではありません。あるいは SD カード内のコンテンツが破壊されている可能性があります。(➜ 10)

➢ パソコンなどで編集した写真または動画は再生できない場合があります。

写真

写真（JPEG）が正しく再生できない

- Progressive JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

写真一覧画面で写真が表示されない

- パソコンなどで編集した写真は再生できない場合があります。

SD カード

SD カードのコンテンツが読み込めない

- 本機で対応しているフォーマットではありません。あるいは SD カード内のコンテンツが破壊されている可能性があります。(➜ 10)
- 本機は当社製デジタルカメラ、ブルーレイディスクレコーダー、または同様の機器を使用し、SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、FAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカード、およびexFAT形式でフォーマットされたSDXCメモリーカードに対応しています。(➜ 10)
- 本機で対応していないフォルダ名やファイル名、あるいは拡張子を含む SD カードです。(➜ 56 ～ 57)
- 本機の電源を入れ直してください。
- 本機では8 MB～2 GBまでのSDメモリーカード、4 GB～32 GB の SDHC メモリーカード、および 48 GB と 64 GB の SDXC メモリーカードが使用できます。

SD カード容量が減っている

- BD-Live 対応ディスク再生中、データは SD カードにダウンロードします。「ＢＤ ビデオデータ消去」を使って SD カードをフォーマットするか、新しい SD カードをお使いください。(➜ 31)

USB 機器

USB 機器が正しく認識されない

- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
- USB 機器側の本機と接続するための設定が正しく設定されていますか。接続機器の説明書をご覧ください。
- お使いの USB 接続ケーブルが USB 機器に対応していない可能性があります。接続する機器の付属品など、指定の USB 接続ケーブルをお使いください。
- USB 機器に SD カードが正しく入っていますか。
- 以下のような場合、正しく認識されないことがあります。
  - 無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）に付属の延長用 USB ケーブル以外の USB 接続ケーブルや、USB ハブを使って USB 機器を接続している
  - 再生中に USB 機器を接続する

接続

接続したテレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）

- テレビとは直接接続してください。(➜ 39)
- 接続を確認してください。(➜ 39)
- テレビの電源は入っていますか。
- テレビの入力切換は正しいですか。
- テレビ側の画面モードを変更してください。
- **初期設定**「画面アスペクト」は、正しく設定されていますか。(➜ 53)
- 本機で受信したテレビ放送を出力する場合、放送内容によっては、出力できないことがあります。
- HDMI ケーブルによっては、接続の向きが決められているものがあります。向きを逆にして接続してみてください。
- 接続したテレビに複数の HDMI 入力端子がある場合、他の HDMI 入力端子に接続してみてください。
- テレビによっては、再生などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。
- HDMI 接続で４台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。

横縦比 4:3 の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい

- **初期設定**「画面アスペクト」の設定を確認してください。(➜ 53)
- 接続したテレビ側の画面モードなどの設定を確認してください。
  接続したテレビの説明書もご確認ください。
- 本機の画面モードの設定を確認してください。(➜ 23)

映像が縦に引き伸ばされる

- ４：３で記録された映像の可能性があります。
  初期設定「画面アスペクト」を「16：９ フル」に設定すれば、16：９映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。
  (➜ 53)
- ４:３のテレビに HDMI 端子で接続し、16:９映像を出力する場合、縦に引き伸ばされます。テレビのアスペクト設定で調整してください。また、調整ができない場合、**初期設定**「HDMI 出力解像度」を「480p」に設定してください。(➜ 53)

画面の左右に黒帯が表示される

- **初期設定**「画面アスペクト」を「16:9 フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。(➜ 23、53)

映像の左右の端が切れる、または色が薄い

- 表示領域の広いテレビは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。

表示していた画面が消える

- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10 分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。**(➜ 53)**

外部スピーカーから音が出ない

- 接続を確認してください。**(➜ 39)**
- 接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。**(➜ 52)**
- HDMI接続で４台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。
- HDMI 端子で接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。
- HDMI 端子で接続し、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」にしている場合、副音声を含む BD ビデオでは、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声は Dolby Digital の音声で、DTS-HD の音声は DTS の音声で 48 kHz に変換されて出力されます。オリジナルの音声で出力する場合は、「切」にしてください。**(➜ 52)**

ビエラリンク

ビエラリンク (HDMI) が働かない

- **初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。**(➜ 53)**
- 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。**(➜ 40)**
- バッテリーパックのみで本機を使用している場合は、本機の電源を入れてから操作してください。**(➜ 13)**
- HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク (HDMI) が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。

① HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す

② テレビ（ビエラ）のビエラリンク (HDMI) を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください）

③ テレビ（ビエラ）の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク (HDMI)が動作するか確認する

ネットワーク接続

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。**(➜ 42 ～ 44)**
- 電話回線用のモジュラーケーブルを接続していませんか。LAN ケーブルを接続してください。
- ハブまたはブロードバンドルーターの電源を入れてください。
- ハブまたはブロードバンドルーターの接続は正しいですか。ハブまたはブロードバンドルーターの説明書をご確認ください。
- **初期設定**「BD-Live インターネット接続」または「ネットワーク」の設定を確認してください。**(➜ 52、54)**

DLNA 対応機器の映像を再生できない

- 接続した機器側で本機が登録されていますか。
- すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

無線 LAN 接続をしているとき、DLNA 対応機器からの映像を再生できない、または映像が途切れる

- 無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）との接続が 802.11n (5 GHz) で、暗号化方式が「AES」になっているか、ご確認ください。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。
- アクセスポイント接続設定 の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信のとぎれなどが発生する場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 **(➜ 43)** を再度行ってください。

テレビでネット

インターネットサービスが動かない・つながらない

- ネットワーク接続は正しいですか。**(➜ 42)**
- **初期設定**「IP アドレス / DNS 設定」の「DNS-IP 自動取得」が「入」になっていますか。**(➜ 54)**
- 各種インターネットサービスをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。
- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。

用語解説

ア

アンテナレベル

アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域などによって影響を受けます。

サ

サムネイル

複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

字幕放送

テレビ番組の音声を文字で表示する放送です。
放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

タ

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。
ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差が小さくなり、小音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

ダウンミックス

デジタル放送やディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどを本機のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されます。

地上デジタル放送

UHF帯の電波を使って行うテレビ放送です。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
本機での地上デジタル放送 の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません (2010 年 2 月現在)。

データ放送

お客様のお住まいの地域の天気予報などの情報を選んで画面に表示させることができる放送です。また、テレビ放送に連動したデータ放送も行われます。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送（SD）とデジタルハイビジョン放送（HD）があります。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ハ

パン & スキャン/レターボックス

BD ビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が 16：9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が4：3）のテレビに映し出そうとすると、16：9の映像が4：3に収まらなくなります。
4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン & スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。

ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています）
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています）

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム
=
フィールド
+
フィールド

フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

ブロードバンド

ご家庭でインターネットを楽しめるインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

プログレッシブ (p)/インターレース (i)

インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を 1 回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

プロバイダー

ケーブルに接続した機器を、インターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

マ

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ワ

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）

携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送のことです。UHF 電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）本機でのワンセグの視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません (2010 年 2 月現在)。

A

AAC（Advanced Audio Coding）（エーエーシー（アドバンスド オーディオ コーディング））

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエイチディー）

高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

AVCREC（エーブイシーレック）

高精細なハイビジョン映像をハイビジョン画質のまま DVD 等に記録できるように開発された新しい記録フォーマット (規格) の名称です。
DVD 機器で再生するには、記録したディスクの AVCREC 方式の再生に対応している必要があります。

B

BD - J

BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

D

DHCP
（Dynamic Host Configuration Protocol）

サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DivX

DivX は DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高画質な映像のまま小さいサイズに圧縮して記録することができます。

DLNA
（Digital Living Network Alliance）

ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、かんたんに、便利に使用するための技術です。

Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1 ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD 規格では最大 7.1 ch まで対応しています。

Dolby TrueHD

DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1 ch まで対応しています。

DTS（Digital Theater Systems）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD

映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生することができます。BD 規格では最大 7.1 ch まで対応しています。

DTS - HD High Resolution Audio

従来の DTS、DTS-ES、DTS96/24 フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の 96kHz/48kHz 対応しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS - HD Master Audio

ロスレス音声フォーマットで、最大 96kHz/7.1ch に対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

H

HDMI
（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓘ IPアドレス

インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、ブロードバンドルーターなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

Ⓙ JPEG（Joint Photographic Experts Group）

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ LAN（Local Area Network）

社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

LPCM（リニアPCM）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

LTH（Low to High）

有機色素系媒体を用いて記録するブルーレイディスクの規格です。

Ⓜ MACアドレス

ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

MPEG2、MPEG-4 AVC / H.264

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

Ⓟ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓤ USB（Universal Serial Bus）

周辺機器を接続するためのインターフェース規格です。

❶ 1080p、1080i、720p、480p、480i

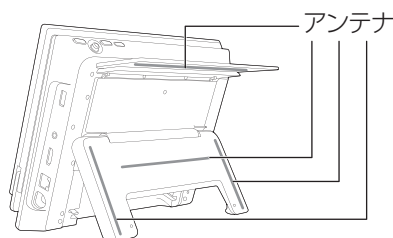
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i=飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p=順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480iの表示は総走査線数にあたる1125p、1125i、750p、525p、525iと表示されることもあります。

❷ 24p

毎秒24フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

❹ 4アンテナ　ダイバーシティシステム

4本の異なるアンテナで放送波を受信して処理することにより、最適な受信状態を実現するシステムです。

必要なとき

著作権など

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- テレビでネットのサービス
- 番組表表示などの電子番組表サービス
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
  DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD、DTS-HD Advanced Digital Out 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “BD-LIVE”ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- “BONUSVIEW”は Blu-ray Disc Association の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機が表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、**[モード]** で「ＴＶ」選択時に **[スタート]** を押し、「その他の機能へ」→「メール／情報」→「ID表示」→「ソフト情報表示」をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2010年2月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- DivX® は DivX, Inc. の登録商標であり、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
  DivX® is a registered trademark of DivX, Inc., and is used under license.
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

This product incorporates the following software:
(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源
DC 12 V（DC IN 端子)/
DC 7.2 V（バッテリー端子)

消費電力（付属の専用 AC アダプター使用時）
動作時：約 20 W（本体 約 18 W)
充電時 （クイックスタート「切」)：約 16 W
充電時 （クイックスタート「入」)：約 20 W
待機時 （クイックスタート「切」)：約 0.4 W
待機時 （クイックスタート「入」)：約 4 W

AC アダプター
入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力：66 VA ～ 82 VA
出力：DC 12 V、2.5 A

付属 / 別売バッテリーパック DY-DB30（リチウムイオン）
電圧：7.2 V
容量（最小)：5400 mAh

別売バッテリーパック DY-DB15（リチウムイオン）
電圧：7.2 V
容量（最小)：4200 mAh

別売バッテリーパック DY-DB100（リチウムイオン）
電圧：7.2 V
容量（最小)：8100 mAh

本体

外形寸法（突起物を含まず）	幅 262 mm× 高さ 200.5 mm× 奥行き 55.1 mm
質量	約 1838 g (バッテリーパック含む) 約 1604 g (バッテリーパック含まず)
許容周囲温度	+5 ℃～ +35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH（結露なきこと）
液晶 ディスプレイ	10.1 型 α － Si TFT ワイド液晶モニター 画素数：横 1024× 縦 600
テレビ受信チャンネル	地上デジタル放送 (ワンセグ放送対応※ 1) : UHF13 ch ～ 62 ch ※ 2
アンテナ 受信入力	内蔵アンテナ：4 アンテナ 4 チューナー ダイバーシティ 方式 外部アンテナ入力端子：1 系統（75 Ω)
HDMI 映像・音声出力	端子数：1系統（19ピン typeA端子） HDMI[本機はビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています] （480p/720p/1080i/1080p） HDMI （x.v.Color™、High Bit rate Audio)
LAN 端子	端子数：1系統 （10BASE-T/100BASE-TX）
USB	端子数：1系統（USB 2.0）
SD カード スロット	端子数：1系統
スピーカー	出力 : 500 mW + 500 mW (8 Ω)
ヘッドホン 出力	出力端子：φ 3.5 mm ステレオミニジャック（16 ～ 32 Ω 推奨) 端子数：1 系統

※ 1　データ放送受信には対応していません。
※ 2　トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式の CATV には対応していません。

DISC部

再生可能な ディスク	● BD-RE SL(SL: 片面 1 層) ● BD-RE DL(DL: 片面 2 層) ● BD-R SL(SL: 片面 1 層) ● BD-R DL(DL: 片面 2 層) ● BD-Video（BD-Live 対応） ● CD-Audio：CD-DA ● CD-R/CD-RW： CD-DA、JPEG/MP3/DivX フォーマット記録ディスク ● DVD-RAM ※ 3： DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠、 AVCHD 規格準拠 ● DVD-R ※ 4、 DVD-R DL（片面2層）※ 4： DVDビデオレコーディング規格準拠、 DVDビデオ規格準拠、 AVCREC 規格準拠、 AVCHD 規格準拠 ● DVD-RW ※ 4： DVDビデオレコーディング規格準拠、 DVDビデオ規格準拠、 AVCHD 規格準拠 ● +R ※ 4、+R DL（片面2層）※ 4、 +RW ※ 4： DVDビデオ規格準拠、 AVCHD 規格準拠 ● DVD-Video：DVDビデオ規格準拠

※ 3　カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※ 4　他の機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

SD部

対応カード	SDメモリーカード※5、※6、※7
対応 フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※8、 exFAT※9

● 使用可能容量は少なくなることがあります。

※5　SDHC、SDXC対応カードを含む。
※6　miniSDカードを含む。
（miniSDアダプター装着時）
※7　microSD/microSDHC/microSDXCカードを含む。
（microSDアダプター装着時）
※8　ロングファイル名非対応。
※9　SDXCのみ。

SDカード機能/静止画（JPEG）

画像 ファイル形式	● JPEGベースライン方式 (DCF準拠) ● DPOF対応
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング： 4：2：2、4：2：0

SDカード機能/動画（MPEG-2）

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2

SDカード機能/動画（持ち出し動画）

ファイル形式 / 画質	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 / 320 × 180 15 fps (412 kbps) SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile) 準拠 / 640 × 360 30 fps (1.5 Mbps、1.0 Mbps)
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

SDカード機能/動画（AVCHD）

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

USB部

バージョン	ハイスピードUSB（USB2.0準拠）
対応 フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※10

※10　ロングファイル名非対応。

USB機能/静止画（JPEG）

画像 ファイル形式	● JPEGベースライン方式 (DCF準拠) ● DPOF対応
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング： 4：2：2、4：2：0

USB機能/音楽（MP3）

対応 ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
サンプリング周 波数	44.1 kHz、48 kHz

USB機能/動画（DivX）

ファイル形式	DivX
映像コーデック	● DIV3、DIV4、DIVX、DX50、DIV6 ● GMC：未対応 ● FPS：60 fpsまで
画素数	32 × 32 ～ 1920 × 1080
音声 フォーマット	MP3、MPEG、Dolby Digital

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

危険

■ 指定以外のバッテリーパックを使わない
■ バッテリーパックの端子部 (⊕・⊖) に金属物 (ネックレスやヘアピンなど) を接触させない
■ バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
■ バッテリーパックを電子レンジやオーブンなどで加熱しない
■ バッテリーパックを炎天下 (特に真夏の車内) など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。
- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要 (寿命) になったバッテリーについては、4 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

バッテリーパックは、本機で充電する

本機以外で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜きバッテリーパックを外す
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体やACアダプターが破損した**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

乾電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

メモリーカードや miniB-CAS カードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。
- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

歩行中や乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

風呂場、シャワー室、キッチンなど水のかかるおそれのある場所では使用しない

火災・感電の原因になります。

⚠警告

乾電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った乾電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

液晶画面やアンテナやスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60 ℃以上) になります。本機やバッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない

本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

⚠注意

スタンドは開ききって設置する

開ききらないで設置すると、倒れたり落下し、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

指定の AC アダプターを使う

指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜きバッテリーパックを外す

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスク・カード・USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。

本機を設置するときや移動させるときは、本体とスタンドの間に指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日
miniB-CASカード番号	

※ miniB-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは…
「故障かな！？」(➜ 62 ～ 67) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- **製品名**　ブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビ
- **品　番**　DMP-BV200
- **故障の状況**　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間 ：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 8年
当社は、このブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

- **修理に関するご相談は**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は**・・・・・・・・・・・・

ホームページをご覧いただけるお客様は弊社ホームページへ

ホームページのご案内
※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ホームページをご覧いただけないお客様はお客様ご相談センターへ

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（ＩＰ電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。
当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1109

さくいん

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で **「ご愛用者登録」**をしてください

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

特典１	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
特典２	**商品情報をスムーズに入手** Ｑ＆Ａや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
特典３	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

登録はこちらから　PC http://club.panasonic.jp/　携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビの点検を！**

こんな症状はありませんか	ご使用中止
● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを外して、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ

〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT2J85-2
F0210BL2050